SHARP®

液晶プロジェクター

形名 PG-B10S（ピー ジー ビー エス）

取扱説明書

Notevision
SLIM & COMPACT LCD PROJECTOR

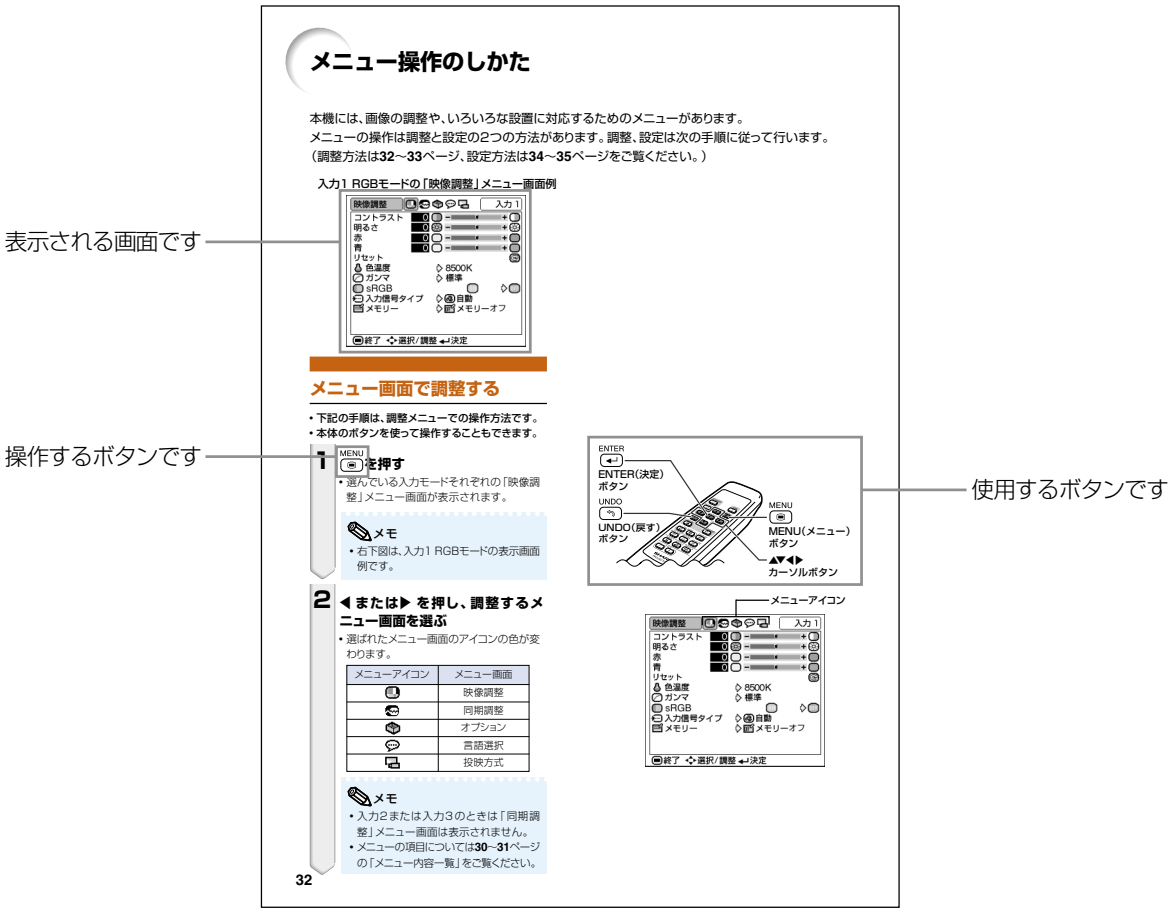
このたびはシャープ液晶プロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用の前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。·····**4**ページ

- 保証書は、必ず購入店名·購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

この取扱説明書の見かた

※画面表示やイラストは、説明のために簡略化してありますので、実際とは多少異なります。



お知らせ
- 特に気をつけていただきたい内容について説明しています。

メモ
- 操作や設定時の制限事項や注意する内容について説明しています。

こんなときは

お手入れをするときは 60ページ

故障かな？と思ったら 71、72ページ

わからない用語があるときは 77ページ

もくじ

はじめに

ページ

この取扱説明書の見かた 2
もくじ 3
安全に正しくお使いいただくために 4
使用上のご注意 8
付属品について 9
各部のなまえ 10
本体 10
本体のランプ表示について 11
本体後面 12
各入力端子とおもに接続する機器 13
リモコン 14
リモコンの使いかた 15
リモコンの使用範囲 15
乾電池の入れかた 15

使ってみる

基本的な使いかた 16
設置から投映まで 16

投映する

投映のしかた 18
電源を入れる 18
入力を切り換える 19
本体の音量を調整する 19
投映した映像と音声を一時的に消す 20
画面の台形歪みを補正する（キーストーン補正） 20
電源を切る（待機状態にする） 21
投映画像の大きさやピントを合わせる 22
アジャスターを使って角度を調整する 23
レンズシフトレバーで投映位置を調整する 24
投映位置を調整する 25

便利な機能を使う

入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ 26
入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える ... 26
投映中の画像を静止画にする・デジタル拡大する ... 28
画像を静止状態にする 28
画像の一部を拡大表示する 28
本体の操作ボタンをロックする 29
キーロックの設定／キーロックの解除 29

メニューを使う

メニュー内容一覧 30
メニュー操作のしかた 32
メニュー画面で調整する 32
メニュー画面で設定する 34
映像調整メニューで投映した映像を調整・設定する ... 36
見やすい映像に調整する 36
色味を変える（色温度設定） 36
暗い画面を明るくする（ガンマ設定） 37
原画像に近い色合いにする（sRGB設定） 37
INPUT1(入力1）端子に接続した機器の
信号タイプを設定する（入力信号タイプ設定） ... 38
映像調整した内容を登録する（メモリー） 38
同期調整メニューでコンピュータの
画面を調整・設定する 39
縦縞模様やチラツキを軽減する（同期調整） ... 39
入力信号に合わせた解像度を選ぶ（特殊モード設定） 39
コンピュータの画面を自動調整する
（自動同期調整機能） 40
入力信号の情報を確認する（入力信号確認） ... 40
オプションメニューで本機を楽しむための
設定をする 41
ランプ使用時間を確認する（ランプ時間（残率）） ... 41
画面に表示されている情報を消す（OSD表示） 41
INPUT2(入力2）端子/INPUT3(入力3）端子に
接続した機器の映像信号方式を設定する
（映像信号方式設定） 42
無信号時やオープニング時に投映する画面を
設定する（無信号時画面設定） 42
消費電力を低減する（エコモード設定） 43
無信号状態が続くときに電源を自動的に
待機状態にする（無信号時自動電源オフ機能） ... 43
メニューを見やすい位置に設定する（メニュー位置設定） ... 44
メニューの見えかた（不透明／半透明）
を設定する（メニュー色設定） 44
4桁の数字でパスワードを設定する（パスワード設定） ... 45
プロジェクターを不正に使用できないようにする
（システムロック設定） 46
画面表示言語を日本語以外に変更する 48
画面に表示する言語を選択する（言語選択） .. 48
投映環境に合わせた投映方式を選択する 49
映像を左右反転する（投映方式） 49

機器を接続する

コンピュータや映像機器を本体に接続する ... 50
コンピュータを接続する 51
ビデオ機器を接続する 52
プロジェクターをコンピュータで制御する 54
RGB入力端子付きモニターを接続する 55
電源コードを接続する 55

設置

スクリーンを設置する 56
スクリーンの設置のしかた 56
画面サイズと投映距離 57
反転映像を投映するとき 58

付録

プロジェクターを持ち運ぶ 59
キャリングバッグの使いかた 59
お手入れのしかた 60
エアフィルターのお手入れのしかた 61
側面のエアフィルターの掃除または交換 61
お知らせ表示について 63
ランプを交換する 65
ランプについて 65
ランプ使用上のご注意 65
ランプ交換時のご注意 65
ランプ交換のしかた 66
ランプ使用時間をリセットする 67
本体のコネクターのピン配置 68
RS-232C仕様とコマンドの設定 69
RGB入力信号（推奨信号）について 70
故障かな？と思ったら 71
アフターサービスについて 73
お客様ご相談窓口のご案内 74
仕様 75
寸法図 76
用語集 77
索引 78

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠ 警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ 注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

⚠ 警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く

●異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない

●この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

●サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。
内部には高電圧部分が数多くあります。
万一、さわると危険です。

●この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告

表示された電源電圧で使用する

● 表示された電源電圧（交流100～240ボルト）以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは

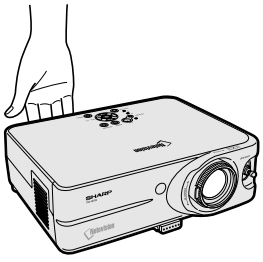
● この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない

● 投映中にレンズをのぞかないでください。
眼を傷める原因となります。
特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

高温部には触れない

● 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは

● この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。
取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にものや水などを入れない

● この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない

● こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

● 感電の原因となります。

つづく

安全に正しくお使いいただくために（つづき）

⚠警告

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない

● ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災·感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

● 火災·感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災·感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災·感電の原因となります。

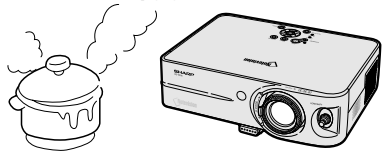
● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災·感電の原因となります。

⚠注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。

● 火災·感電の原因となることがあります。調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災·感電の原因となることがあります。



通風孔をふさがない

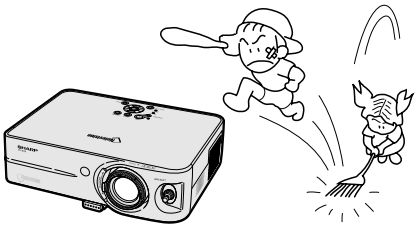
● この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから20cm以上はなして設置してください。

● 次のような使い方はしないでください。
この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

重いものを置かない

● この機器の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。

● この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。
倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



置台に据えつけるときは

● キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠注意

移動させるときは必ず接続線をはずす

●移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く

●安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く

●安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

●電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する

●内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。

指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

●機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する

●電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

使用上のご注意

設置するときは次の点にご注意ください

ホコリ、湿気の少ないところへ

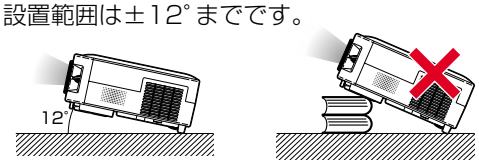
■ 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

■ スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

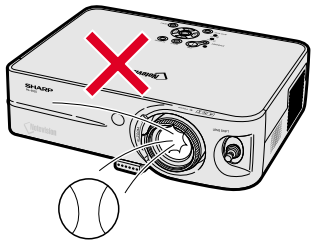
プロジェクターは12°以上傾けないようにしてください

■ 設置範囲は±12°までです。



衝撃を与えないでください

■ レンズには、特にご注意いただき表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



高温、低温の場所はさけてください

■ 使用温度範囲　5℃～35℃
■ 保存温度範囲　－20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

■ 排気孔側に壁やモノがある場合は、20cm以上スキ間をあけて設置してください。
■ 排気孔や吸気孔をふさがないよう設置してください。
■ 冷却ファンがふさがれると、保護回路が働き自動的に待機状態になります。これは故障ではありません。プロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがない位置でもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。

輸送や持ち運び時のご注意

■ 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上行ってください。
■ 持ち運ぶときは、レンズ部を持たないでください。
■ 持ち運ぶときは、付属品のレンズ保護用ブロックとレンズキャップを取り付けてください。（**10**～**11**ページ）

接続機器について

■ プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
■ 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

使用時のご注意

目をときどき休めてください

■ 連続して長い時間画面を見ていると目が疲れますので、ときどき目を休めてください。

ランプ交換に関しての注意

■ 「ランプについて」（**65**ページ）もご覧ください。
■ 廃棄の方法について
このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ（HIDランプ）は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関しての注意

■ ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

- この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

海外でご使用になるときは

■ お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード（別売品）をご使用ください。

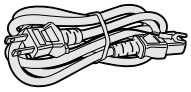
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Macintoshはアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

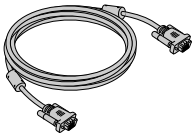
付属品について

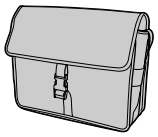
付属品

リモコン

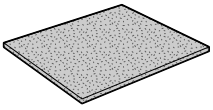
単3形乾電池（2本）

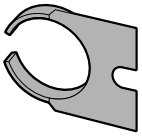

電源コード（1.8m）


RGBケーブル（3m）


キャリングバッグ

レンズキャップ
（装着出荷）


交換用エアフィルター


レンズ保護用ブロック

- 取扱説明書（本書）
- クイックガイドラベル
  （貼りつけかたは、**11**ページをご覧ください）
- 保証書

別売品のご案内

■3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル（3m）	AN-C3CP
■コンピュータRGBケーブル（10m）	AN-C10BM〈15ピンミニD-subコネクター（オス）〉 • IBM-PC系・NEC PC-9821系・PC-98NX系
■5BNC/15ピンミニD-subケーブル（3m）	AN-C3BN
■RS-232Cケーブル（10m）	AN-C10RS（クロス・メス-メスタイプ）
■DIN-D-sub RS-232アダプター（15cm）	AN-A1RS

- コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクター（市販品）が必要な場合があります。

■リモートレシーバ	AN-MR1EL

各部のなまえ

の中の数字は参照ページを示します。

本体

天面操作部

ON（電源入）ボタン 18
電源を入れます。

電源表示 63

STANDBY(スタンバイ)ボタン 21
電源を待機状態にします。

ランプ表示 63

温度モニター表示 63

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン 39
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

19 INPUT(入力切換)ボタン
入力モード(入力1、2、3)を切り換えます。

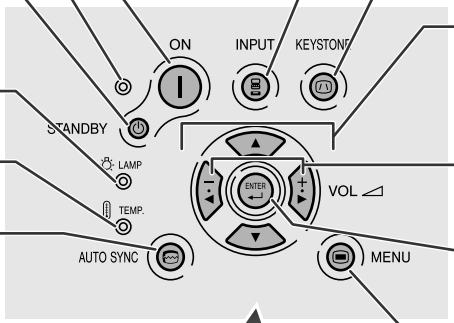
20 KEYSTONE(キーストーン補正)ボタン
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面にします。

32 カーソルボタン(▲▼◀▶)
- メニュー設定に使用します。
- KEYSTONE（キーストーン補正）ボタンを押したときは台形歪みを補正します。

19 VOLUME(音量)ボタン
スピーカーからの音量を調整します。

33 ENTER(決定)ボタン
メニューで選択調整した項目を決定します。

32 MENU(メニュー)ボタン
各種設定･調整用の画面を表示します。



前面／側面

リモコン受信部 15

ズームレバー 22
投映画像を拡大/縮小します。

アジャスター（プロジェクターの底部） 23

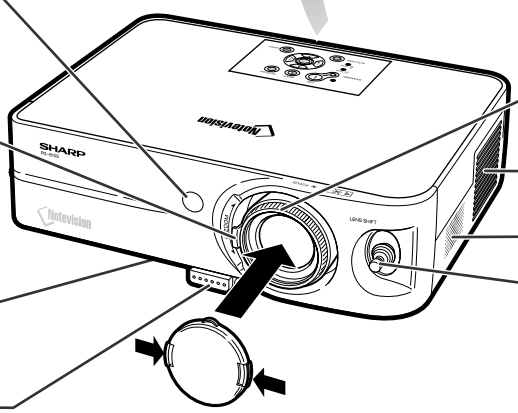
高さ調整ボタン 23

22 フォーカスリング
投映画像のピントを合わせます。

60 吸気孔

スピーカー

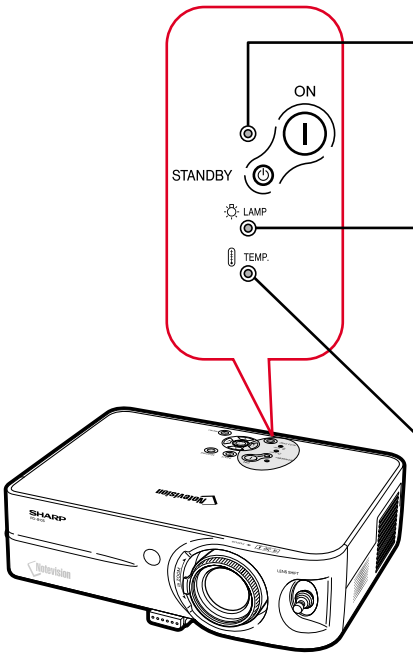
24 レンズシフトレバー
レンズを上下左右（360˚）動かすことができます。（本体を動かさずに、投映位置を調整できます。）



レンズキャップの取り付け
レンズキャップの2つのボタンを押してレンズに当てます。ボタンを離して取り付けます。

レンズキャップの取り外し
レンズキャップの2つのボタンを押して、レンズから外します。

本体のランプ表示について



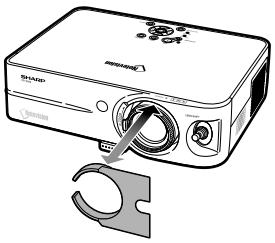
電源表示
赤/緑色点灯…正常
赤色点滅…異常があります（**63**ページ）

ランプ表示
緑色点灯…正常
緑色点滅…光源起動中
赤色点灯…ランプの交換時期です（**63**ページ）

温度モニター表示
消灯…正常
赤色点灯…内部温度が上昇しています（**63**ページ）

レンズ保護用ブロックの取り付け/取り外し

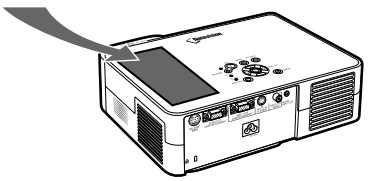
■ レンズ保護用ブロックを取り付けるときは、レンズシフトレバーをセンターに戻してください。レンズが上や下にシフトされている状態では、レンズ保護用ブロックを取り付けることはできません。



クイックガイドラベル

■ 同梱されているクイックガイドラベルは本体に貼りつけてください。ただし、ラベルの特性上、右図で表示されている場所以外へは貼らないでください。

クイックガイドラベル



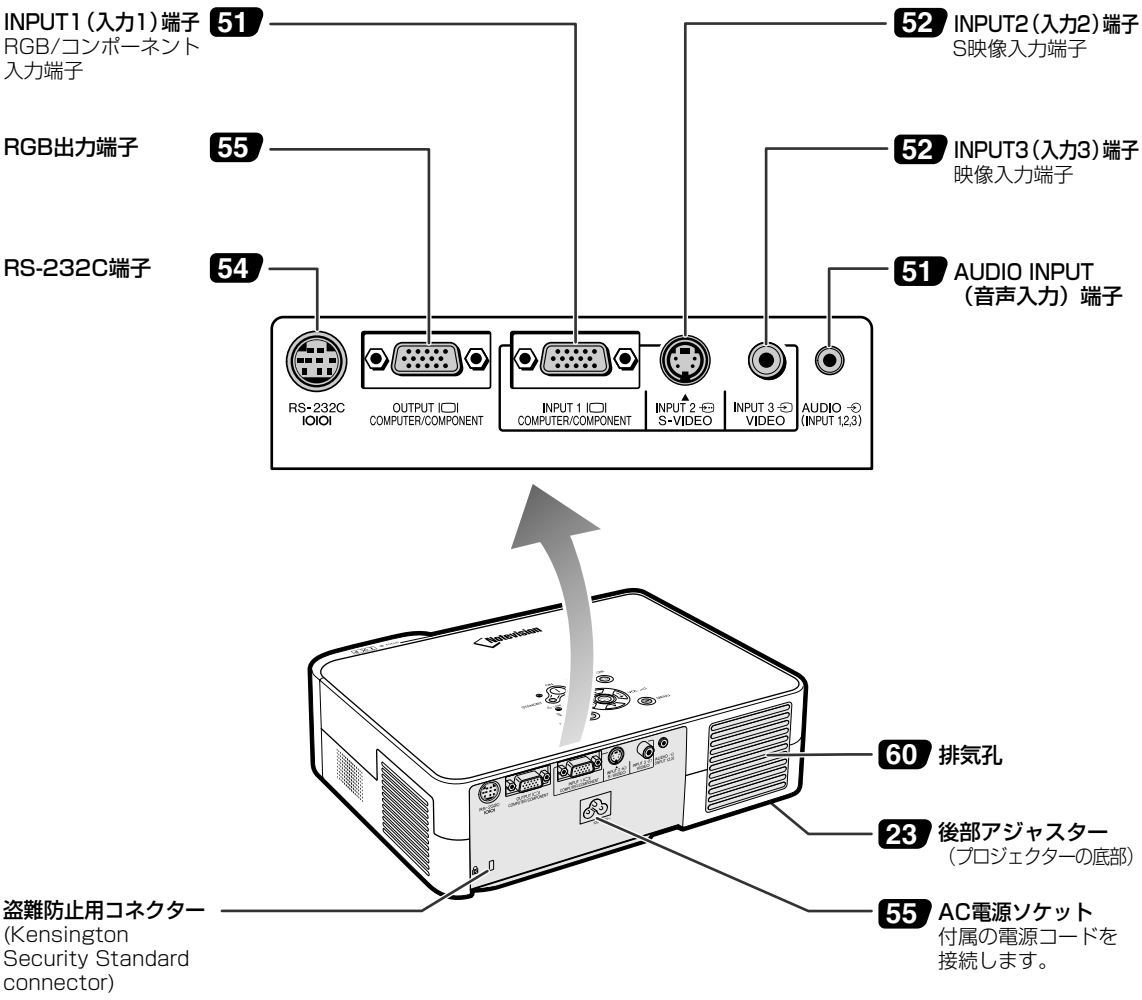
つづく

各部のなまえ（つづき）

の中の数字は参照ページを示します。

本体後面

後面端子 …… 詳しくは次ページの「各入力端子とおもに接続する機器」をご覧ください。



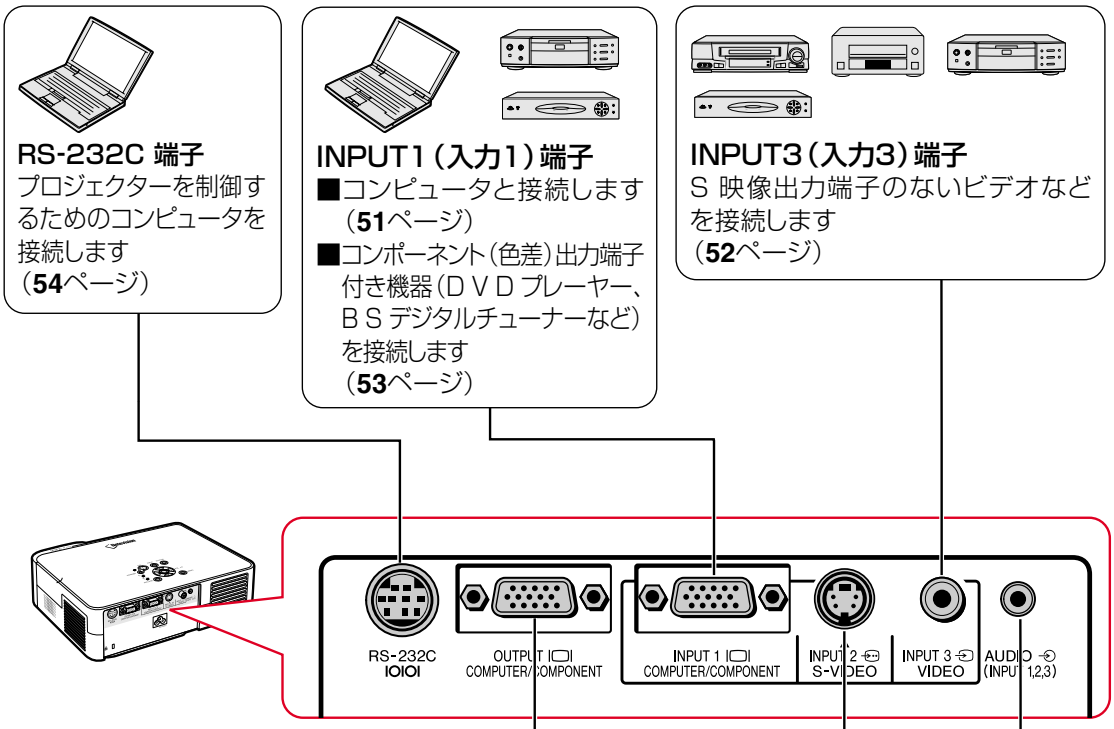
盗難防止用コネクターについて

- 市販の盗難防止用ケーブル（Kensington社製）などを接続することができます。

メモ

■盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

各入力端子とおもに接続する機器



RS-232C 端子
プロジェクターを制御するためのコンピュータを接続します
（**54**ページ）

INPUT1（入力1）端子
■コンピュータと接続します（**51**ページ）
■コンポーネント（色差）出力端子付き機器（ＤＶＤプレーヤー、ＢＳデジタルチューナーなど）を接続します
（**53**ページ）

INPUT3（入力3）端子
S 映像出力端子のないビデオなどを接続します
（**52**ページ）

RGB出力端子
投映する画像をモニターで同時に見たいときにモニターを接続します
（**55**ページ）

INPUT2（入力2）端子
S 映像出力端子がある機器（ビデオ、レーザーディスクプレーヤーなど）を接続します
（**52**ページ）

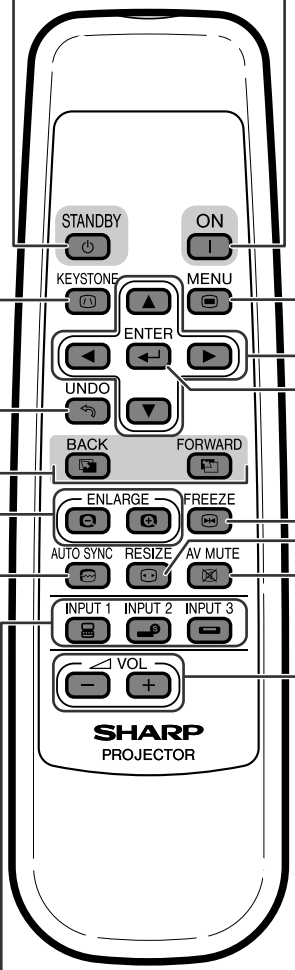
AUDIO INPUT（音声入力）端子
音声ケーブルを接続します（INPUT（入力）1,2,3 共有）（**51**ページ）

つづく

各部のなまえ（つづき）

■の中の数字は参照ページを示します。

リモコン



STANDBY（スタンバイ）ボタン 21
電源を待機状態にします。

KEYSTONE（キーストーン補正）ボタン 20
投映角度により生じる台形歪みを補正する画面にします。

UNDO（戻す）ボタン 21
1つ前の操作状態や前画面に戻します。

FORWARD／BACK（送り／戻し）ボタン
別売のリモートレシーバ（コンピュータ用）とコンピュータをUSBケーブルで接続しているとき、コンピュータの「Page Down」「Page Up」ボタンとして働きます。

ENLARGE+／−（拡大／縮小）ボタン 28
投映画面の部分拡大や縮小を行うのに使用します。

AUTO SYNC（自動同期調整）ボタン 39
コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

INPUT（入力切換）1、2、3ボタン 19
入力モードを切り換えます。

ON（電源入）ボタン 18
電源を入れます。

MENU（メニュー）ボタン 32
各種設定・調整用の画面を表示します。

カーソルボタン（▲▼◀▶） 32
- メニュー設定に使用します。
- KEYSTONE（キーストーン補正）ボタンを押したときは、台形歪みを補正します。

ENTER（決定）ボタン 33
メニューで選択調整した項目を決定します。

FREEZE（静止画）ボタン 28
映像を静止画の状態にします。

RESIZE（画面サイズ切換）ボタン 26
映像に合わせて画面サイズを切り換えます。

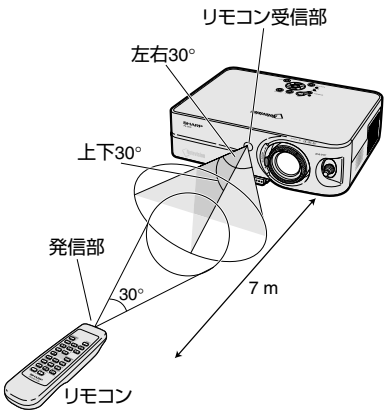
AV MUTE（AVミュート）ボタン 20
プロジェクターから投映されている映像とプロジェクターの音声を一時的に消します。

VOLUME（音量）ボタン 19
スピーカーからの音量を調整します。

リモコンの使いかた

リモコンの使用範囲

リモコンの使用範囲は図のとおりです。



メモ

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

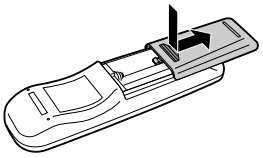
リモコン使用上のご注意

- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- 蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

乾電池の入れかた

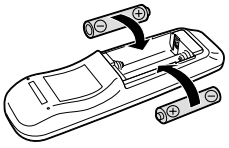
乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。
〔単3形2本〕

1 カバーを矢印の方向にスライドさせ、開ける

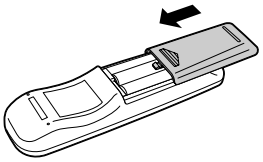


2 付属の乾電池を入れる

- プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。



3 カバーを矢印の方向にスライドさせ、閉める



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠注意

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
  新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。
  また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

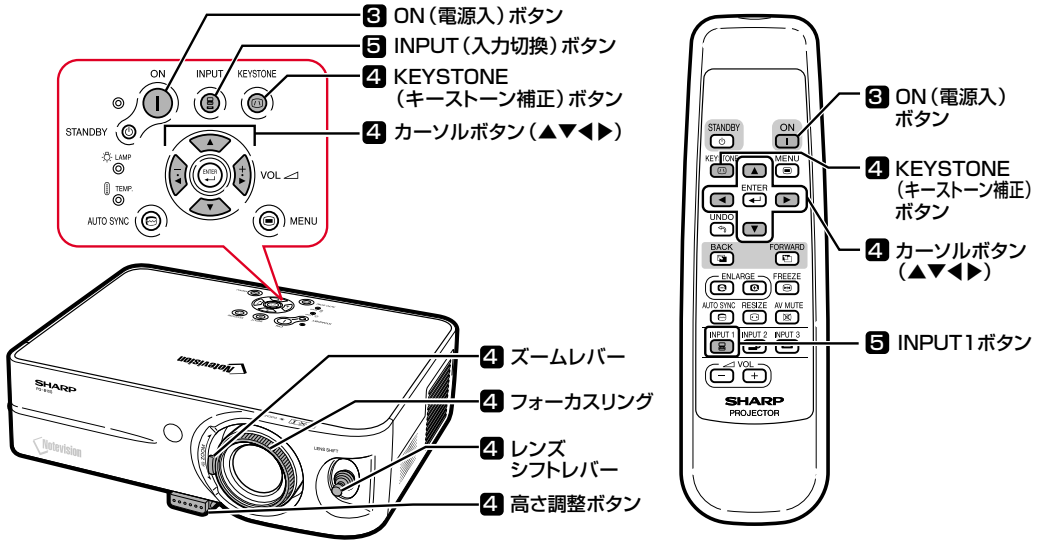
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

基本的な使いかた

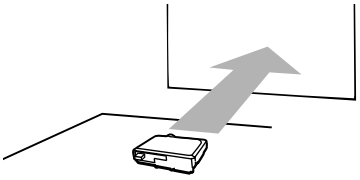
このページでは、本機を楽しむための基本的な使いかたを説明しています。詳しくは各項目に記載されているページをご覧ください。

設置から投映まで

ここでは、本機とコンピュータの接続を例に説明します。

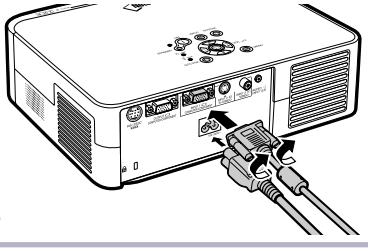


1. 本体を映したいスクリーンに向けて置く



➡56ページ

2. 電源コードおよびコンピュータを接続する



ほかの機器を接続する場合は、13、50ページをご覧ください。

➡51, 55ページ

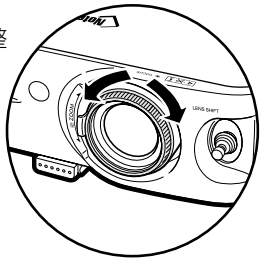
3. 電源を入れる

➡18ページ

4. 投映された画像を調整する

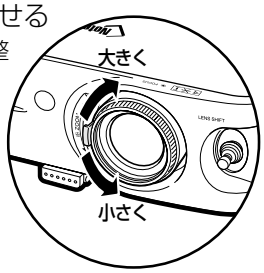
① ピントや投映画像の大きさを合わせる

ピントを合わせる
- フォーカスリングで調整



➡22ページ

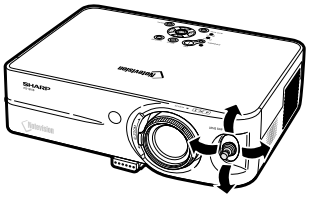
画面サイズを合わせる
- ズームレバーで調整



➡22ページ

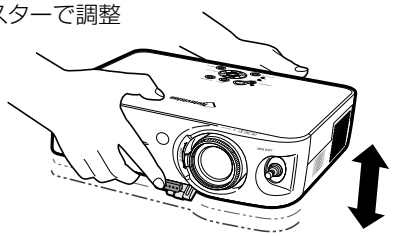
② 投映位置や投映角度を調整する

投映位置を調整する
- レンズシフトレバーで調整



➡24ページ

投映角度を調整する
- アジャスターで調整



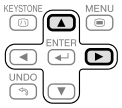
➡23ページ

③ 台形歪みを調整する

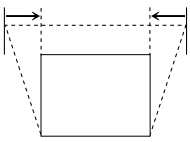
キーストーン補正で台形の歪みを補正する

本体
KEYSTONE

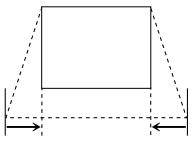
リモコン
KEYSTONE



上辺を縮める



下辺を縮める



➡20ページ

5. 入力モードを選ぶ

INPUT（入力切換）ボタンで「入力1」を選ぶ

本体
INPUT

リモコン
INPUT 1

▼画面表示(RGB信号入力時)

▼画面表示(コンポーネント(色差)信号入力時)

- 本体の(INPUT)ボタンを押すと、入力1→入力2→入力3の順番で切り換わります。
- リモコンで入力モードを切り換えるときは、(INPUT 1)/(INPUT 2)/(INPUT 3)を押して切り換えます。

➡19ページ

投映のしかた

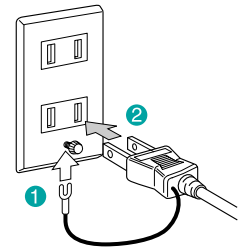
電源を入れる

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。（**50**ページ）

1 アースコードを取り付ける

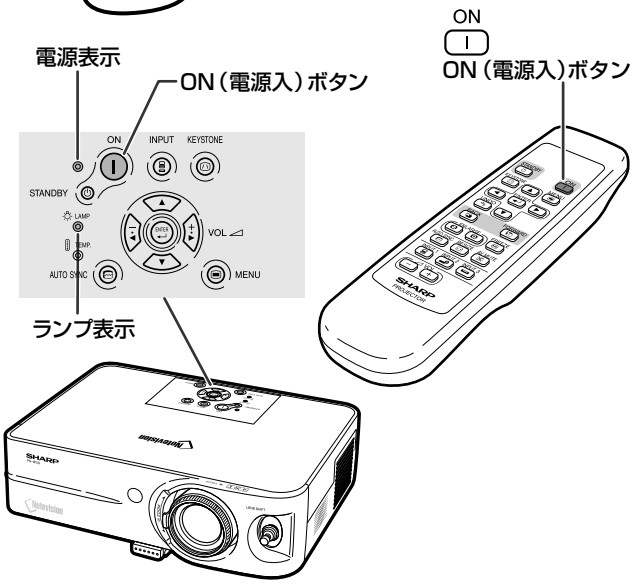
2 電源プラグをコンセントに接続する

- プロジェクターの電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。



3 本体のON（⏻）またはリモコンのON（⏻）を押す

- 電源表示が緑色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ表示が緑色点灯します。ランプ表示が緑色点灯してから、プロジェクターの操作を始めてください。



メモ

- ランプ表示はランプの状態をお知らせします。
  緑色点灯:ランプ点灯中
  緑色点滅:ランプ起動中
  赤色点灯:ランプ交換
- プロジェクターを待機状態にした直後に再び電源を入れると、ランプ表示が点灯するまで多少時間がかかる場合があります。

- システムロックが設定されているときは、キーコード入力画面が表示されます。設定したキーコードを入力してください。システムロック機能についてくわしくは、**46**ページをご覧ください。

▼キーコード入力画面表示

こんなときは

- 投映画像の大きさやピントを合わせたいときは、**22**ページをご覧ください。
- 投映角度を調整したいときは、「アジャスターを使って角度を調整する」（**23**ページ）、「レンズシフトレバーで投映位置を調整する」（**24**ページ）をご覧ください。

入力を切り換える

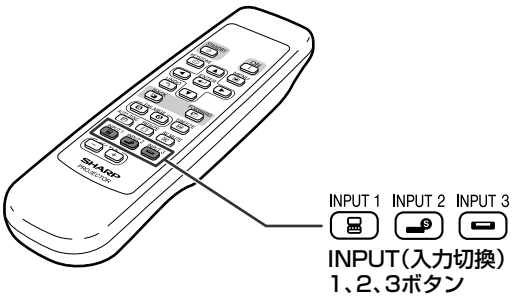
接続した機器にあわせて、入力モードを選択します。

リモコンのINPUT 1、INPUT 2、INPUT 3を押し、入力モードを選ぶ

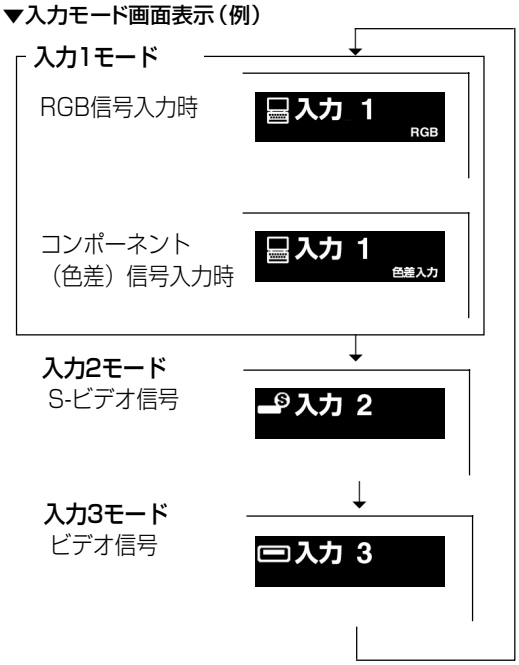
- 本体のINPUTを押すと、

  →入力1→入力2→入力3→

  の順番で切り換わります。



▼入力モード画面表示（例）



メモ

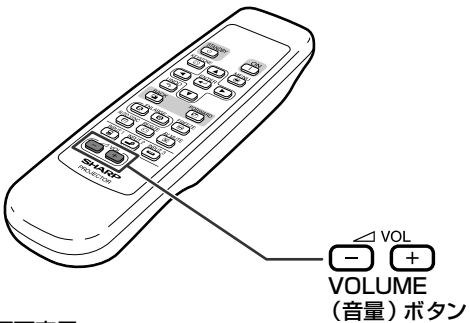
- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けとると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「オプション」メニューの「OSD表示」が「 」（切）に設定されていると、入力モードは表示されません。（**41**ページ）

入力モードについて

入力1 (RGB/色差)	RGB入力端子に接続した機器のＲＧＢ信号またはコンポーネント(色差)信号を投映したいとき
入力2 (S-ビデオ)	S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投映したいとき
入力3 (ビデオ)	ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投映したいとき

本体の音量を調整する

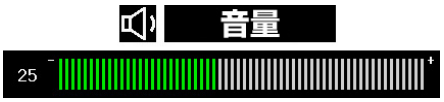
リモコンの−または＋を押し、スピーカーの音量を調整する



メモ

- −を押すと音量が小さくなります。
  ＋を押すと音量が大きくなります。
- 本体の◁または▷を使って音量を調整することもできます。

▼画面表示

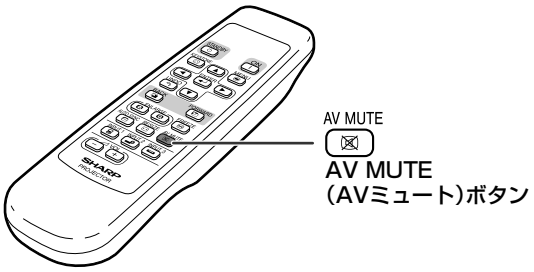


つづく

投映のしかた（つづき）

投映した映像と音声を一時的に消す

映像と音声を一時的に消したいときは
リモコンの AV MUTE を押す



▼画面表示

メモ

- もう一度 AV MUTE を押すと、映像と音声がもとに戻ります。

画面の台形歪みを補正する（キーストーン補正）

キーストーン（画面の台形歪み）補正が行えます。

メモ

※キーストーン補正とは

- 映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、映像が台形に歪みます。
  この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。
- キーストーンで補正できる角度は、スクリーンに対して上下±約35度までです。
  画像表示モード:「標準」（コンピュータ入力信号の場合）/「ズーム」（ビデオ入力信号の場合）
- 横方向のキーストーン補正は行えません。
- 設置方法について、くわしくは**8**ページ、**56**ページをご覧ください。

1 KEYSTONE を押す

- キーストーン補正画面になります。
- 本体の KEYSTONE ボタンを使うこともできます。

▼画面表示（キーストーン補正画面）

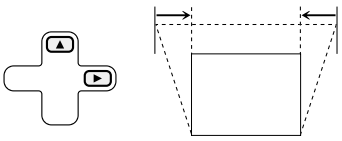
2 ▲、▶または▼、◀を押し、調整する

- 本体の▲、▶または▼、◀を使ってキーストーン補正値を調整することもできます。

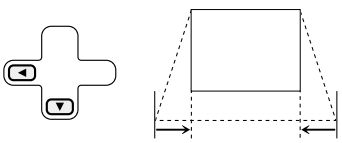
メモ

- 台形の歪みは±約35度まで補正できるので、スクリーンをその角度まで傾けて設置することもできます。
- キーストーン補正調整を取り消すときは、UNDOを押します。
- 調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。

上辺を縮める



下辺を縮める



3 KEYSTONEを押す

- キーストーン補正画面が解除されます。
- 本体のKEYSTONEボタンを使うこともできます。

メモ

- 4:3ズーム画面で設定した内容は、そのまま16:9でも有効です。

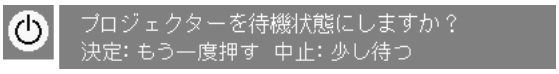
電源を切る（待機状態にする）

1 本体のSTANDBYまたはリモコンのSTANDBYを押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

メモ

- 間違って本体のSTANDBYまたはリモコンのSTANDBYを1回押したときは、そのままお待ちください。しばらくすると確認画面が消え、投映状態に戻ります。

▼画面表示



2 冷却ファンが停止してから、電源プラグをコンセントから抜く

お知らせ

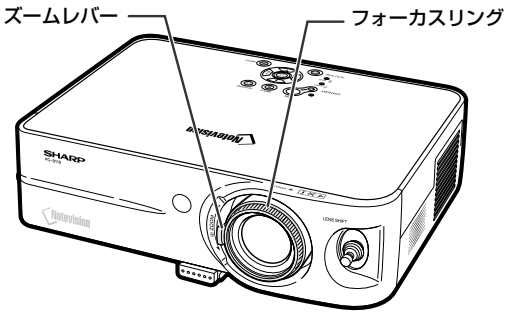
- 投映中および冷却ファンの動作中（待機状態にした後、約90秒間）は、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に停止するため、温度上昇により故障の原因となります。

つづく

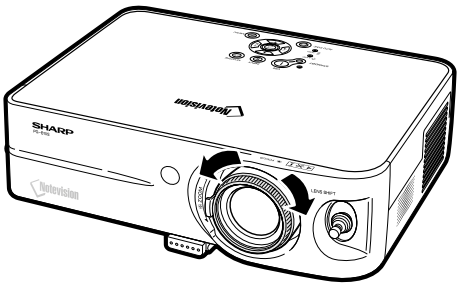
投映のしかた（つづき）

投映画像の大きさやピントを合わせる

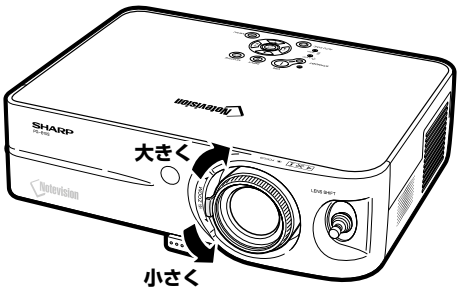
フォーカス（ピント）調整やズーム操作は本体で行います。



1 **フォーカス（ピント）は、フォーカスリングをまわして調整する**



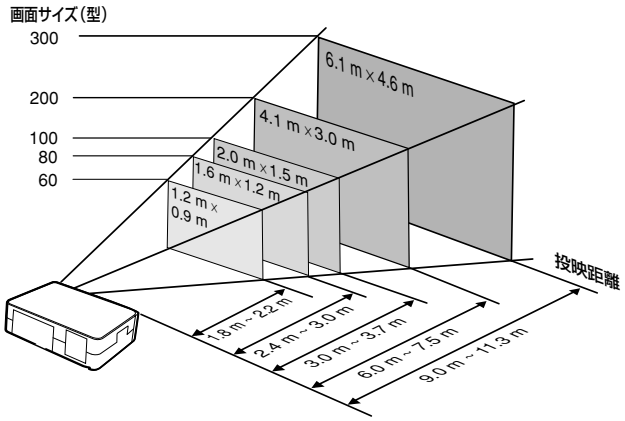
2 **ズームは、ズームレバーを動かして操作する**



投映画像の大きさと設置距離のめやす

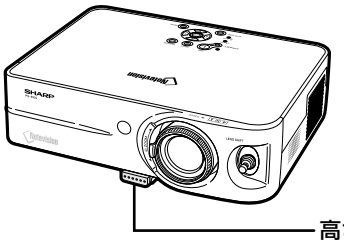
詳細については、**57**ページをご覧ください。

例:　4:3ズームモード時（コンピュータ入力時は「標準」モード）



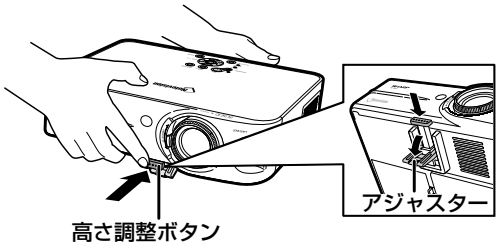
アジャスターを使って角度を調整する

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを調整することができます。
また、プロジェクターよりスクリーンが高い位置にあるときは、上に傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。



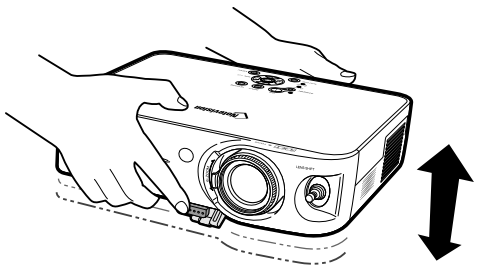
1 高さ調整ボタンを押す

- アジャスターが出ます。



2 高さ調整ボタンを押したまま、プロジェクターを持ち上げて高さ調整する

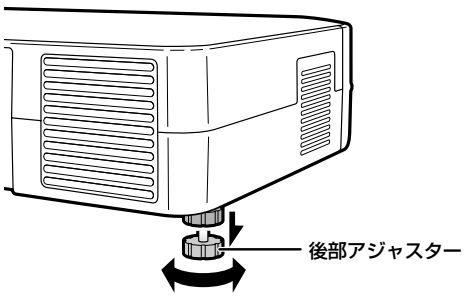
- 設置位置から約12 度まで5段階の角度調整ができます。
- プロジェクターを押し下げるとき、設置面がすべりにくいとアジャスターが動きにくいことがあります。その場合はプロジェクターを少し後方にずらしながら、押し下げてください。



3 お好みの高さになったところで、高さ調整ボタンから手を離す

4 傾きを補正するときは後部アジャスターで調整する

- 設置位置から±1度補正することができます。



メモ

- アジャスターを使って高さを調整した場合、画面が台形に歪むことがあります。その場合は、「画面の台形歪みを補正する（キーストーン補正）」（**20**ページ）で画面の歪みを補正してください。

お知らせ

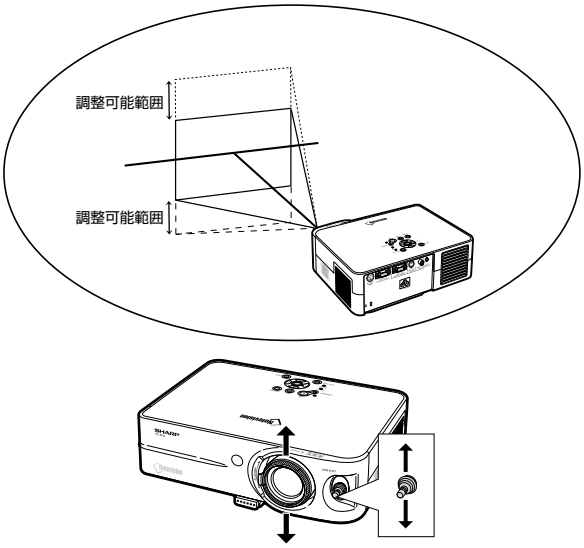
- アジャスターが出ている状態で高さ調整ボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりささえて高さを調整してください。
- プロジェクターを上下させるとき、レンズを持たないでください。
- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。

つづく

レンズシフトレバーで投映位置を調整する

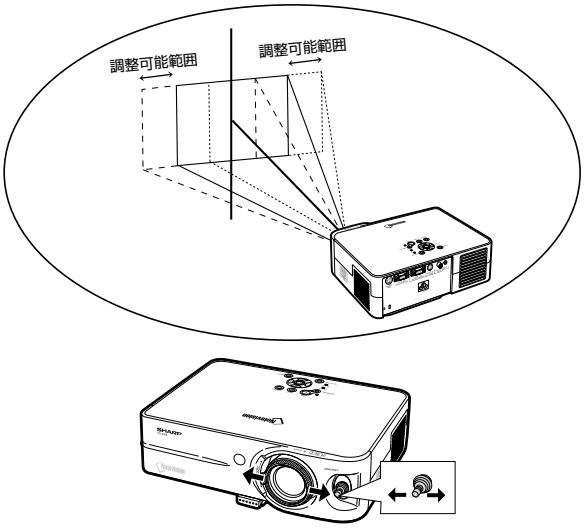
本機はズーム機能やアジャスターを使用した投映角度調整に加え、本体前面のレンズシフトレバーを動かすだけで上下左右（360度）レンズを動かし投映位置を調整できます。
設置場所の条件によりスクリーンを動かせない場合などに便利な機能です。

上下に動かしたとき



レンズシフトレバー

左右に動かしたとき

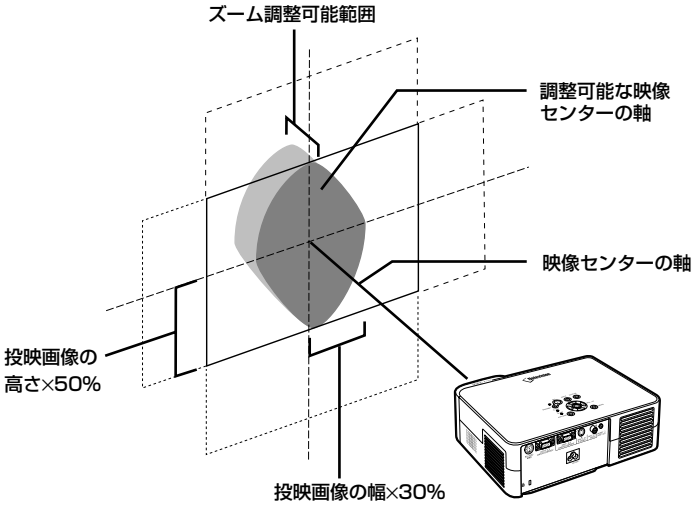


レンズシフトレバー

シフト可能範囲

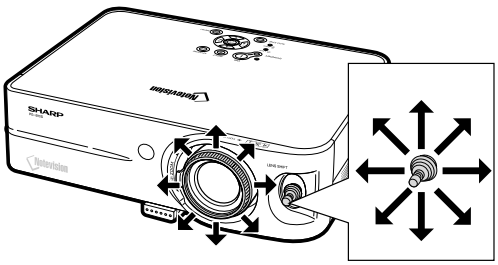
レンズシフトレバーによる調整可能範囲には制限があります。
イメージは下図のようになります。

映像センターの軌跡



投映位置を調整する

レンズシフトレバーで投映位置を調整する



お知らせ

- プロジェクターを使用中（投映中）は本体に強い振動を与えないでください。投映画像がずれることがあります。
- 輸送や持ち運びのときは、付属のレンズ保護用ブロックとレンズキャップを取り付けてください。
- アジャスターを使って角度を調整しているとき、横方向のレンズシフトを行って生じた投映画像の歪みは、キーストーン補正で修正することはできません。

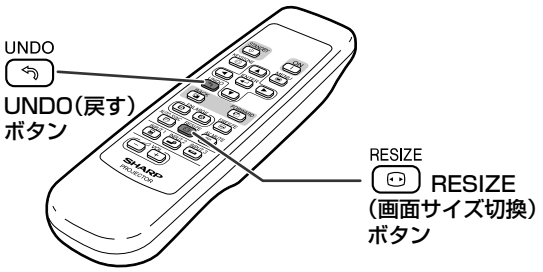
入力信号に合わせた画面サイズを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、画像表示モード（「標準」・「ドットバイドット」・「ボーダー」・「スクイーズ」・「ズーム」）を切り換えることができます。**26**、**27**ページの表を参考に最適な画像サイズを選んでください。

入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える

RESIZE
を押す

- 押すたびに、画像表示モードは**26**、**27**ページのように変わります。
- 初期の状態に戻すには、「画面サイズ」が画面に表示されているときにUNDOを押してください。



コンピュータ

		標準	ドットバイドット	ボーダー	スクイーズ
4:3	SVGA (800 × 600)	800 × 600	–	600 × 450	800 × 450
	XGA (1024 × 768)		1024 × 768		
	SXGA (1280 × 960)		1280 × 960		
	SXGA+ (1400 × 1050)		1400 × 1050		
	SXGA (1280 × 1024)	750 × 600	1280 × 1024	562 × 450	750 × 450
その他	1280 × 720	–	–	–	800 × 450

入力信号		表示イメージ			
		標準 縦横比を維持したまま、4:3スクリーンの内側いっぱいに画像全体を投映します。	ドットバイドット 画像を元の解像度で投映します。	ボーダー パネルの上下左右をカットした4:3部分にアスペクト比を保ったままの画像を投映するモード	スクイーズ パネルの上下をカットした16:9部分を使って横方向に拡大した画像を投映するモード
コンピュータ	画像タイプ				
SVGAより解像度が低い	縦横比 4:3	*	*	*	
SVGA	縦横比 4:3	*	———	*	
SVGAより解像度が高い	縦横比 4:3	*	*	*	
SXGA（1280×1024）	縦横比 5:4	*	*	*	
1280×720	縦横比 16:9	———	———	———	*

* それぞれの映像を正しい縦横比と正しい表示範囲で見るためのモード

■：マスクされ映像がない部分
⬚：パネルからはみ出た信号部分

ビデオ

		ズーム	標準	スクイーズ
525I, 525P, NTSC, PAL, SECAM	縦横比 4:3 レターサイズ、スクイーズ	800 x 600	600 x 450	800 x 450
540P, 750P, 1125I	縦横比 16:9	–	–	

• 540P、750Pまたは1125Iの信号を入力したときは、「スクイーズ」に固定されます。

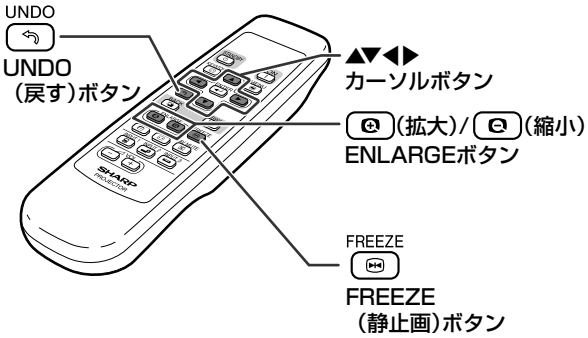
入力信号		表示イメージ		
		ズーム 画像全体を投映します。	**標準** 4:3の画像を16:9スクリーンの内側いっぱいに投映します（画面の両端がマスクされます）。	**スクイーズ** スクイーズ記録された16:9の画像を16:9スクリーンに均一に投映します（画面の上下が黒くなります）。
DVD / ビデオ	**画像タイプ**			
525I, 525P, NTSC, PAL, SECAM	縦横比 4:3	*	*	
	レターボックス	*	*	
	スクイーズ 16:9の画像			*
	スクイーズ 4:3の画像			*
540P, 750P, 1125I (16:9)	縦横比 16:9の画像	——	——	*
	縦横比 16:9 （16:9スクリーンに4:3の画像を投映）	——	——	*

* それぞれの映像を正しい縦横比と正しい表示範囲で見るためのモード

■ : マスクされ映像がない部分
■ : 元の信号自体に映像が無い部分

投映中の画像を静止画にする・デジタル拡大する

投映中の画像を静止画にしたり、画像の一部を拡大することができます。静止画や画像の一部について、より詳しい説明をするときに便利な機能です。



画像を静止状態にする

1 FREEZE **を押す**

- 投映中の画像が静止画になります。

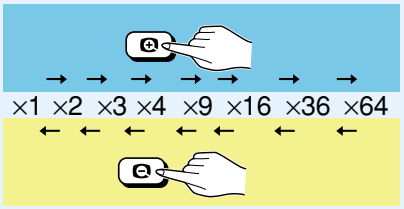
2 FREEZE **を再度押すと、接続した機器の現在の画像に戻る**

画像の一部を拡大表示する

1 **を押す**

- ×2の倍率に拡大されます。
- （拡大）または（縮小）で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

メモ



- ▲▼◀▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。

2 UNDO **を押し解除する**

- 倍率は×1に戻ります。

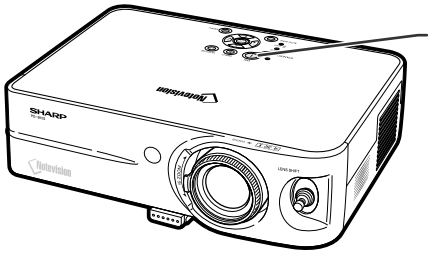
メモ

次の場合、拡大された画像がもとの大きさ（×1）に戻ります。

- 入力切換を行ったとき
- UNDO を押したとき
- 入力信号を変更したとき
- 入力信号の解像度やリフレッシュレート（垂直周波数）が変わったとき

本体の操作ボタンをロックする

この機能は、プロジェクター本体上面のボタンをロックし、誤操作を防止するときに使用します。



キーロックの設定

本体の電源が入っているときに、本体の(ON)を約3秒間押し続ける

メモ

- キーロックをした状態で本機を操作したいときは、リモコンで操作してください。
- 「起動中」と画面表示されているときにはキーロックの設定が行えません。

▼画面表示

キーロック ON

キーロックの解除

本体の電源が入っているときに、本体の(ON)を約3秒間押し続ける

- 本体が待機状態のときに、本体の(ON)を約3秒間押し続けてもキーロックは解除できます。

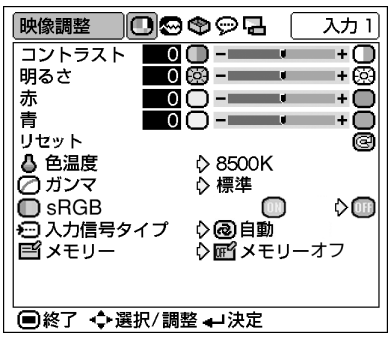
▼画面表示

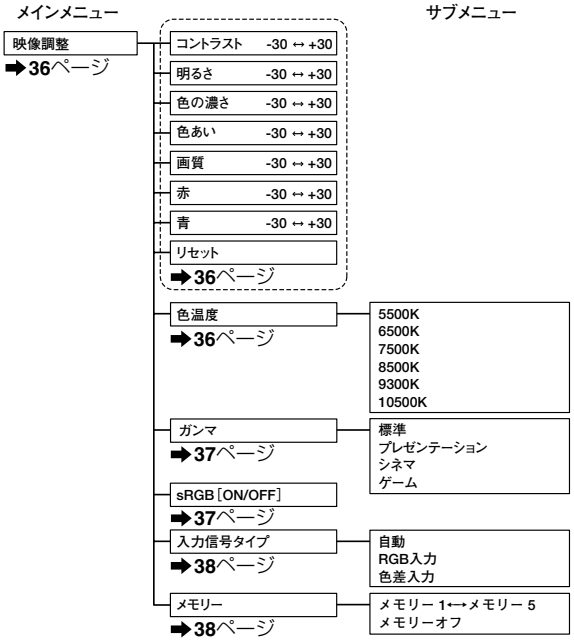
キーロック OFF

メニュー内容一覧

次の項目が本機で設定できます。

「映像調整」メニュー





メモ

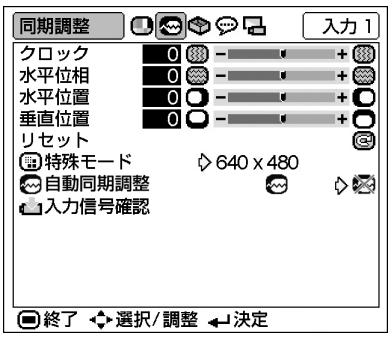
本機の入力がINPUT1（入力1）のとき

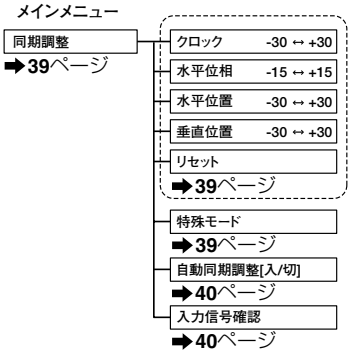
- 「映像調整」メニューのうち「色の濃さ」、「色合い」、「画質」は入力信号タイプが「色差入力」に設定されている場合、または入力信号タイプが「自動」に設定されていて、入力された信号が「色差入力」と判別されている場合のみ表示されます。
- 「映像調整」メニューのうち「sRGB」は入力信号タイプが「RGB入力」に設定されている場合、または入力信号タイプが「自動」に設定されていて、入力された信号が「RGB入力」と判別されている場合のみ表示されます。

本機の入力がINPUT2（入力2）/INPUT3（入力3）のとき

- 「映像調整」メニューのうち「入力信号タイプ」は項目がありません。
- 「映像調整」メニューのうち「画質」は±3の間で調整できます。

「同期調整」メニュー



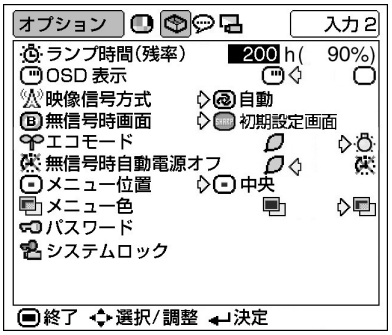


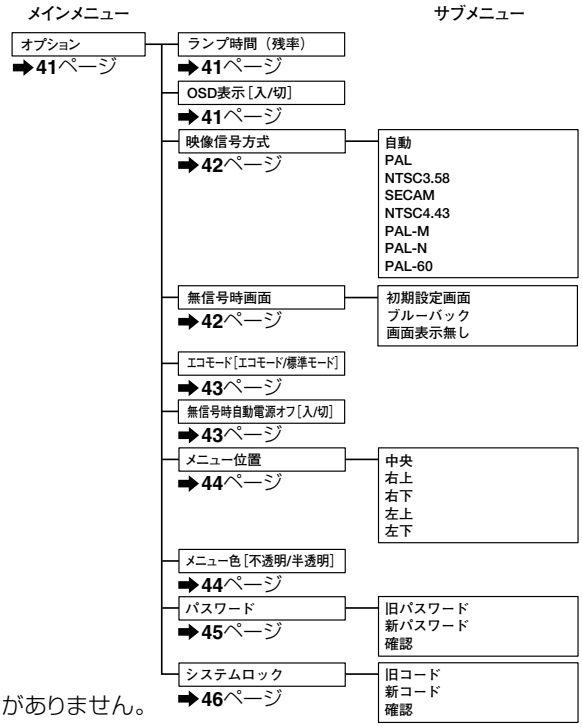
メモ

本機の入力がINPUT1（入力1）のとき

- 「同期調整」メニューは本機の入力がINPUT1（入力1）のときのみ表示されます。

「オプション」メニュー



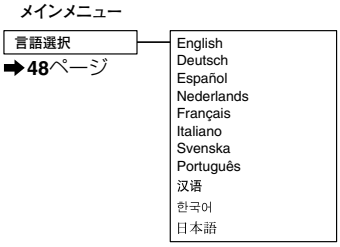


メモ

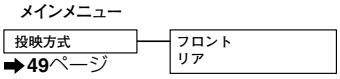
本機の入力がINPUT1（入力1）のとき

- 「オプション」メニューのうち「映像信号方式」は項目がありません。

「言語選択」メニュー



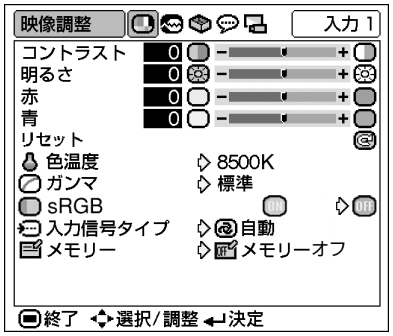
「投映方式」メニュー



メニュー操作のしかた

本機には、画像の調整や、いろいろな設置に対応するためのメニューがあります。
メニューの操作は調整と設定の2つの方法があります。調整、設定は次の手順に従って行います。
（調整方法は**32**～**33**ページ、設定方法は**34**～**35**ページをご覧ください。）

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



メニュー画面で調整する

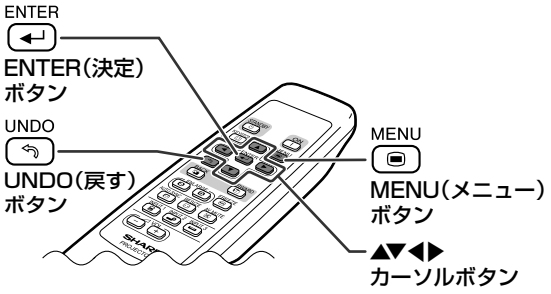
- 下記の手順は、調整メニューでの操作方法です。
- 本体のボタンを使って操作することもできます。

1 MENUを押す

- 選んでいる入力モードそれぞれの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

メモ

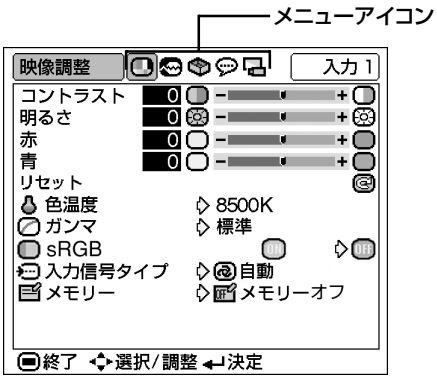
- 右下図は、入力1 RGBモードの表示画面例です。



2 ◀または▶を押し、調整するメニュー画面を選ぶ

- 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション
	言語選択
	投映方式

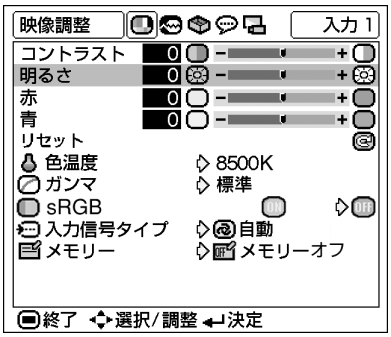


メモ

- 入力2または入力3のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。
- メニューの項目については**30**～**31**ページの「メニュー内容一覧」をご覧ください。

3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

• 選ばれた調整項目の色が変わります。



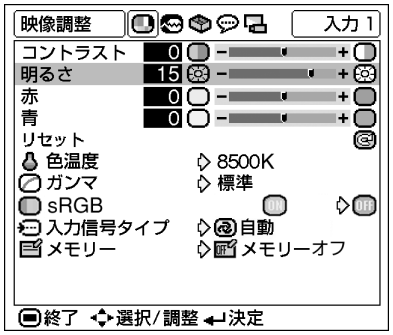
メモ

• 画面を見ながら調整したい場合は、ENTER を押します。選んだ調整項目だけが表示されます。
この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目（「明るさ」の次は「赤」）が表示されます。

• UNDO を押すと、前の画面に戻ります。

4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整（設定）をする

• 調整した内容が保存されます。



5 MENU を押す

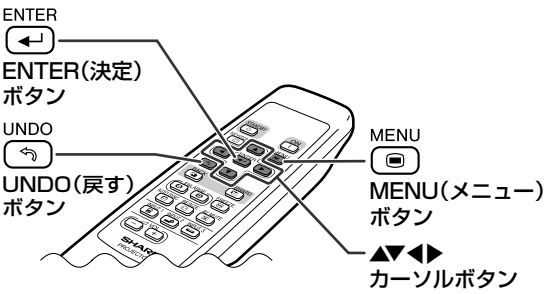
• メニュー画面が消えます。

つづく

メニュー操作のしかた（つづき）

メニュー画面で設定する

- 下記の手順は、設定メニューでの操作方法です。
- 本体のボタンを使って操作することもできます。

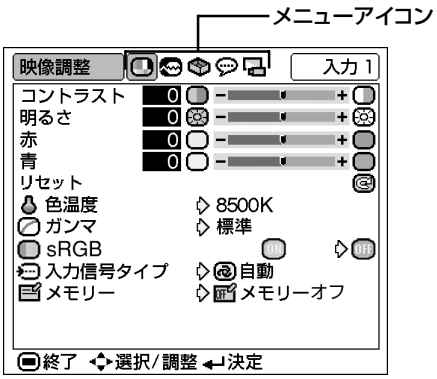


1 MENUを押す

- 選んでいる入力モードそれぞれの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

メモ

- 右図は入力1 RGBモードの表示画面例です。

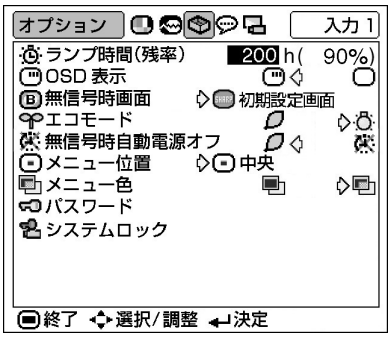


2 ◀または▶を押し、調整するメニュー画面を選ぶ

- 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション
	言語選択
	投映方式

例:「オプション」を選んだとき

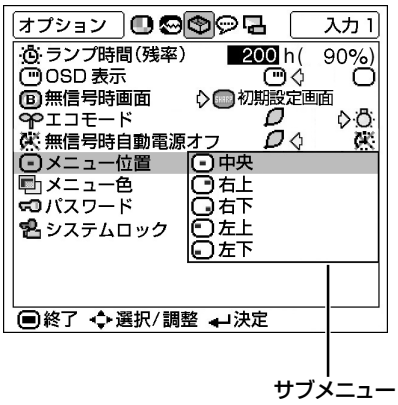


メモ

- 入力2または入力3のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。
- メニューの項目については**30**～**31**ページの「メニュー内容一覧」をご覧ください。

3 ▲または▼を押し、設定する項目を選び、▶を押しサブメニューを表示する

- 選ばれた設定項目の色が変わります。
- 「オプション」メニュー画面の「パスワード」または「システムロック」を選んだときは ENTER を押してください。

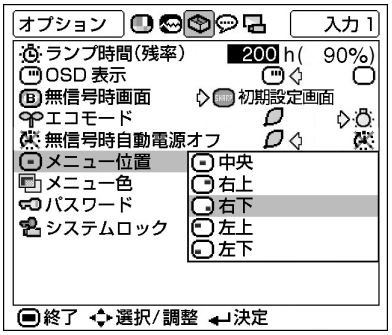


メモ

- UNDO または◀を押すと、前の画面に戻ります。
- 項目によっては、◀ ▶ ボタンを押し「➡」でアイコンを選び設定します。

4 ▲または▼を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ

- 手順**3**で「パスワード」を選んだとき …**45**ページ
- 手順**3**で「システムロック」を選んだとき …**46**ページ



5 ENTER を押す

- 選んだ項目が設定されます。

6 MENU を押す

- メニュー画面が消えます。

映像調整メニューで投映した映像を調整・設定する

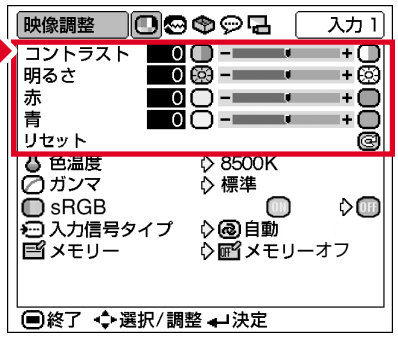
映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。

見やすい映像に調整する

「映像調整」メニュー画面で見やすい映像に調整する

メニュー画面の調整➡32ページ参照

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



調整項目の詳細

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	コントラストを弱くする	コントラストを強くする
明るさ	画像を暗くする	画像を明るくする
色の濃さ	うすい色にする	濃い色にする
色あい	紫がかった色あいにする	緑がかった色あいにする
画質	画像の輪郭をやわらかくする	画像の輪郭をくっきりさせる
赤	赤みを弱くする	赤みを強くする
青	青みを弱くする	青みを強くする

メモ

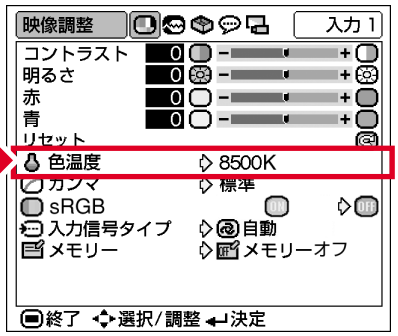
- 以下の条件で入力1を選んでいるときは、「色の濃さ」「色あい」「画質」は表示されません。
  - 「入力信号タイプ」を「RGB」に設定しているとき
  - 「入力信号タイプ」を「自動」に設定していて、入力信号がRGBと判別されているとき
- 「sRGB」が「ON」に設定されているときは、「赤」、「青」の調整は行えません。
- 入力1の「入力信号タイプ」が「色差入力」に設定されている場合、または「自動」に設定されていて、入力された信号が「色差入力」と判別された場合の「画質」調整は、525I、525P、540P、580I、580P、750P、1125I、1035Iの信号が入力されているときに行えます。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び ENTER を押します。

色味を変える(色温度設定)

「映像調整」メニュー画面で「色温度」を選び設定する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



色温度設定の詳細

選択項目	内　容
5500K	赤みがかった映像になります。 （温かい感じの色にしたいとき）
6500K	
7500K	
8500K	
9300K	青みがかった映像になります。 （冷たい感じの色にしたいとき）
10500K	

メモ

- 「色温度」の設定項目はおおよその数値です。
- 「sRGB」が「ON」に設定されているときは、「色温度設定」は行えません。

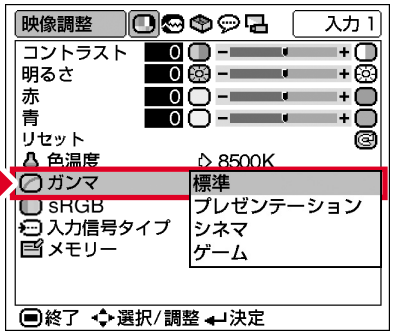
暗い画面を明るくする（ガンマ設定）

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合は、ガンマ補正機能を使って見やすくできます。映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、より見やすい映像が楽しめます。

「映像調整」メニュー画面で「ガンマ」を選び、ガンマ補正を設定する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



ガンマ設定の詳細

選択項目	内　容
標準	標準設定です。
プレゼンテーション	映像をより明るくしたいときに設定します。
シネマ	映画などを見るときに設定します。
ゲーム	自然な色のグラデーションがかかります。ゲームソフトを再生するときに設定します。

メモ

- 「映像調整」メニューの「sRGB」が「ON」に設定されている場合、入力1ではガンマ補正が選べません。

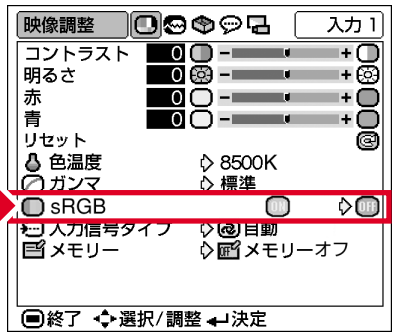
原画像に近い色合いにする（sRGB設定）

コンピュータの映像と投映画像の色合いを合わせたいときに「ON」に設定します。「sRGB」を「ON」に設定すると、原画像に基づいた自然な色あいで表示されます。

「映像調整」メニュー画面で「sRGB」を選び設定する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



メモ

- 「sRGB」が「ON」に設定されているとき
  - ガンマ補正は設定できません。
  - 「映像調整」メニューの「赤」、「青」、「色温度」は調整できません。
- sRGB機能についてのくわしい情報は、http://www.srgb.com/を参照してください。

お知らせ

- 「sRGB」を「ON」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

つづく

映像調整メニューで投映した映像を調整・設定する（つづき）

INPUT1（入力1）端子に接続した機器の信号タイプを設定する（入力信号タイプ設定）

INPUT1（入力1）端子に接続した入力信号に合わせてRGBかコンポーネント（色差）を選択します。

「映像調整」メニュー画面で「入力信号タイプ」を選び設定する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例

入力信号タイプ設定の詳細

選択項目	内　容
自動	入力されている信号がRGB信号か、コンポーネント（色差）信号かを自動的に判別します。
RGB入力	RGB信号を入力したときに設定します。
色差入力	コンポーネント（色差）信号を入力したときに設定します。

映像調整した内容を登録する（メモリー）

「映像調整」メニューで設定する内容を登録することができます。登録した内容は、入力モードや入力信号タイプに関係なく、後から呼び出して使用することができます。

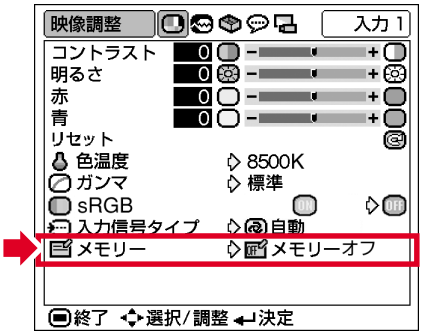
■登録するとき

「映像調整」メニューで設定する前に、登録するポジションを選択しておきます。

「映像調整」メニュー画面で「メモリー」を選び、ポジションを選択する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



メモリーポジションの詳細

選択項目	内　容
メモリー1	「映像調整」メニューのすべての項目の調整値が、選択したポジションに登録されます。 登録された調整値は、どの入力モードからでも呼び出すことができます。
メモリー2	
メモリー3	
メモリー4	
メモリー5	
メモリーオフ	各入力モードで設定した映像調整値がそのまま記憶されます。ここで記憶された調整値は、他の入力モードを選択した場合には反映されません。

■ 登録した内容を呼び出すとき

登録したポジションを選択すると、「映像調整」メニューの内容は登録されているポジションの内容に変わります。

「映像調整」メニュー画面で「メモリー」を選び、ポジションを選択する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

メモ

- 登録内容を変更するときは、内容を変更するポジションを選択してから、「映像調整」メニューの内容を変更します。

同期調整メニューでコンピュータの画面を調整・設定する

「同期調整」メニュー画面を使うと、同期調整と表示モードの設定や入力信号の確認が行えます。

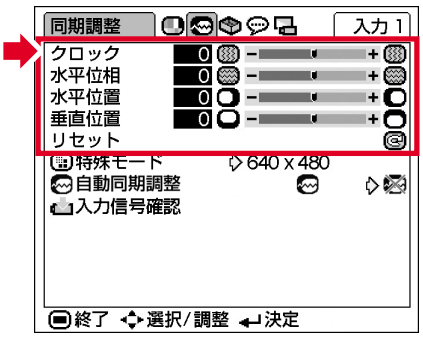
縦縞模様やチラツキを軽減する（同期調整）

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

「同期調整」メニュー画面で見やすい画面に調整する

メニュー画面の調整➡32ページ参照

入力1 RGBモードの「同期調整」メニュー画面例



同期調整の詳細

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します（トラッキング調整）。
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

メモ

- コンピュータの映像は「同期調整」メニューの「自動同期調整」を（オン）にするか、本体のAUTO SYNCまたはリモコンのAUTO SYNCを使うと、簡単に調整できます。詳細については次のページをご覧ください。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選びENTERを押します。

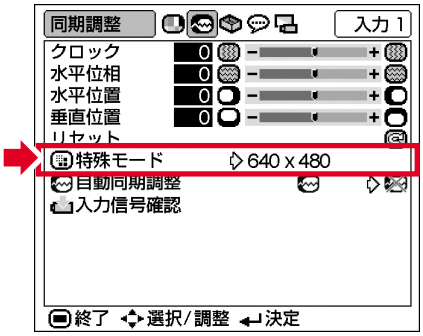
入力信号に合わせた解像度を選ぶ（特殊モード設定）

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

「同期調整」メニュー画面で「特殊モード」を選び解像度を設定する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力1 RGBモードの「同期調整」メニュー画面例



メモ

- コンピュータの1ラインおきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させると、チラツキがおこり、画面が見にくくなる場合があります。
- 525P（プログレッシブ）出力のDVDプレーヤーやデジタルビデオを接続したときは、480Pを選択してください。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、「入力信号の情報を確認する（入力信号確認）」（**40**ページ）をご覧ください。

つづく

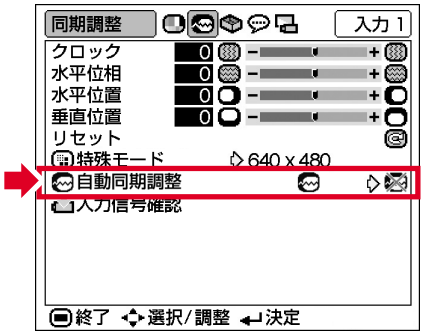
同期調整メニューでコンピュータの画面を調整・設定する（つづき）

コンピュータの画面を自動調整する（自動同期調整機能）

「同期調整」メニュー画面で「自動同期調整」を選び設定する

メニュー画面の設定➡**34**ページ参照

入力1 RGBモードの「同期調整」メニュー画面例



自動同期調整機能の詳細

選択項目	内　容
（オン）	プロジェクターがコンピュータに接続されている状態で、プロジェクターの電源を入れたときや、入力を切り換えたときに、自動的に同期調整を行います。
（オフ）	自動的に同期調整を行いません。

メモ

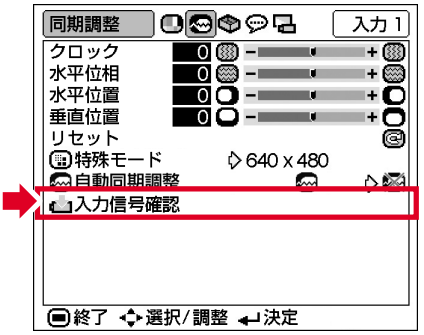
- 自動同期調整は本体の AUTO SYNC またはリモコンの AUTO SYNC を使って行うこともできます。
- 自動同期調整は投映するコンピュータの映像によっては時間がかかる場合があります。
- 自動同期調整を行っても、お客様の意図した映像にならない場合は、手動で同期調整（**39**ページ）を行ってください。

入力信号の情報を確認する（入力信号確認）

「同期調整」メニュー画面で「入力信号確認」を選び確認する

メニュー画面の確認➡**34**ページ参照

入力1 RGBモードの「同期調整」メニュー画面例



メモ

- DVDプレーヤーやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号では、有効走査線数を表示します。

入力信号	本機の表示
525I	480I
525P	480P
750P	720P
1125I	1080I

オプションメニューで本機を楽しむための設定をする

「オプション」メニュー画面を使ってさまざまな設定を行うことができます。

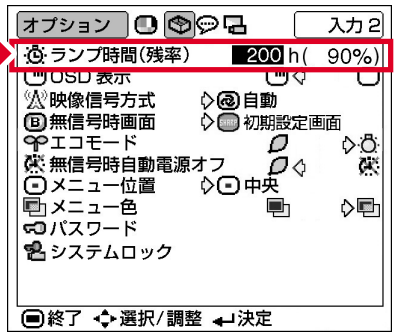
ランプ使用時間を確認する（ランプ時間（残率））

ランプの使用時間と残率が表示されます。

「オプション」メニュー画面を表示し、ランプの使用時間と残率を確認する

メニュー画面の確認➡**34**ページ参照

入力2（Sビデオ）モードの「オプション」メニュー画面例



ランプ時間（残率）の詳細

ランプ使用条件	ランプ残率	
	100%	5%
常に「エコモード」にして使用	約4,000時間	約200時間
常に「標準モード」にして使用	約2,000時間	約100時間

メモ

- ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- 上の表は、「エコモード」または「標準モード」で継続使用した場合を例に記載しています。
- ランプ残率（%）は「エコモード」または「標準モード」へ切り換える割合により増減します。（**43**ページ）
  ランプの交換は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様相談センター（**74**ページ）にお問い合わせください。

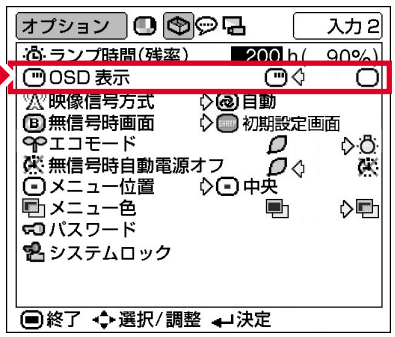
画面に表示されている情報を消す（OSD表示）

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を「入」または「切」に設定すると、INPUT（入力切換）ボタンを押しても、「入力1」などの画面表示が表示されません。

「オプション」メニュー画面の「OSD表示」を選び設定する

メニュー画面の設定➡**34**ページ参照

入力2（Sビデオ）モードの「オプション」メニュー画面例



OSD表示の詳細

選択項目	内　容
入	画面表示のすべてが表示されます。
切	入力モード表示、音量表示、AVミュート、静止画表示、自動同期調整表示、拡大表示、「無効なボタンが押されました。」は表示されません。「キーロック中です。」は、STANDBY（スタンバイ）ボタンが押されたときだけ表示されます。

つづく

オプションメニューで本機を楽しむための設定をする（つづき）

INPUT２（入力2）端子/INPUT3(入力3)端子に接続した機器の映像信号方式を設定する(映像信号方式設定)

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

「オプション」メニュー画面の「映像信号方式」を選び設定する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力2（Sビデオ）モードの「オプション」メニュー画面例

映像信号方式設定の詳細

選択項目	内　容
P1 PAL	PAL方式の映像機器を接続したとき
S SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
N1 NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
N2 NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

メモ

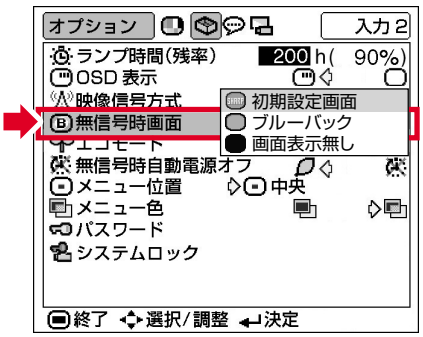
- 映像信号方式は、INPUT（入力）１モードでは設定できません。
- 「映像信号方式」が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、「映像信号方式」をそれぞれの入力信号に切り換えてください。

B 無信号時やオープニング時に投映する画面を設定する（無信号時画面設定）

「オプション」メニュー画面の「無信号時画面」を選び、無信号時およびオープニング時に表示する画面を設定する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力2（Sビデオ）モードの「オプション」メニュー画面例



無信号時画面設定の詳細

選択項目	内　容
初期設定画面	SHARP初期設定画面
ブルーバック	青い画面
画面表示無し	黒い画面※

メモ

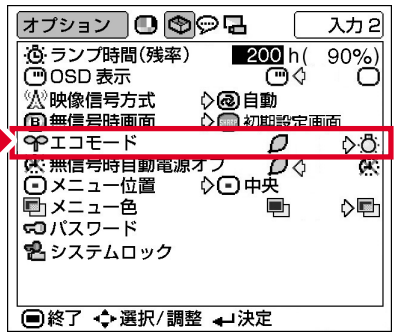
※ 入力信号がスノーノイズのときは、そのままスノーノイズの画面になります。

消費電力を低減する(エコモード設定)

「オプション」メニュー画面の「エコモード」を選び、「」(エコモード)または「」(標準モード)を選択する

メニュー画面の選択➡34ページ参照

入力2(Sビデオ)モードの「オプション」メニュー画面例



エコモード設定の詳細

選択項目	輝度	消費電力(AC100Vのとき)	ランプ寿命
(エコモード)	90%	170W	約4,000時間
(標準モード)	100%	185W	約2,000時間

メモ

- 「」(エコモード)を選択すると、「」(標準モード)と比べて、消費電力が低減すると同時にランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約10%低減します。)
- 工場出荷時は「」(標準モード)に設定されています。

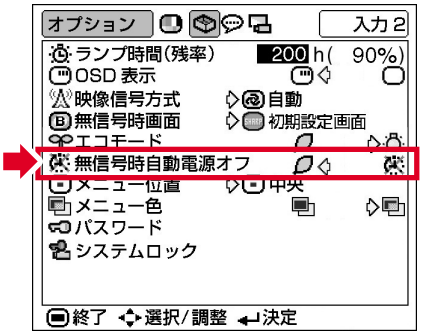
無信号状態が続くときに電源を自動的に待機状態にする(無信号時自動電源オフ機能)

「」(入)に設定したときは15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に待機状態になります。「」(切)に設定すると無信号時自動電源オフ機能が「切」になります。

「オプション」メニュー画面の「無信号時自動電源オフ」を選び、「」(入)または「」(切)を選択する

メニュー画面の選択➡34ページ参照

入力2(Sビデオ)モードの「オプション」メニュー画面例



メモ

- 無信号時自動電源オフ機能が「」(入)に設定されているときは、待機状態になる5分前になると、1分ごとに「●分後に待機状態」の表示がでます。

つづく

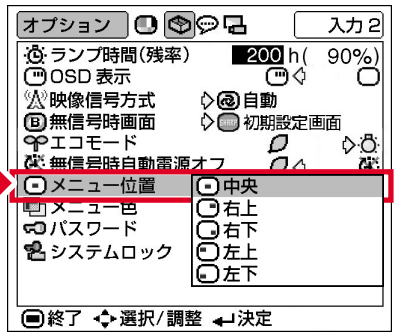
オプションメニューで本機を楽しむための設定をする（つづき）

メニューを見やすい位置に設定する（メニュー位置設定）

「オプション」メニュー画面の「メニュー位置」を選び、メニュー画面をスクリーンのどこに表示させるのかを設定する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

入力2（Sビデオ）モードの「オプション」メニュー画面例



メニュー位置設定の詳細

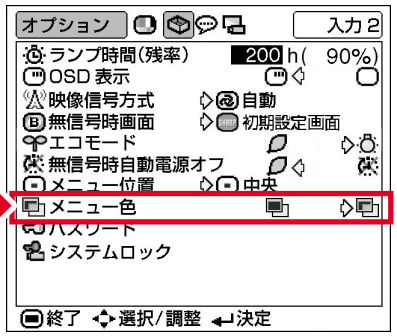
選択項目	内　容
中央	スクリーン中央にメニュー画面が表示されます。
右上	スクリーン右上にメニュー画面が表示されます。
右下	スクリーン右下にメニュー画面が表示されます。
左上	スクリーン左上にメニュー画面が表示されます。
左下	スクリーン左下にメニュー画面が表示されます。

メニューの見えかた（不透明/半透明）を設定する（メニュー色設定）

「オプション」メニュー画面の「メニュー色」を選び、「■」（不透明）または「■」（半透明）を選択する

メニュー画面の選択➡34ページ参照

入力2（Sビデオ）モードの「オプション」メニュー画面例



メニュー色設定の詳細

選択項目	内　容
（不透明）	メニュー表示内の背景色が青くなります。
（半透明）	メニュー表示内が半透明になります。

4桁の数字でパスワードを設定する(パスワード設定)

- パスワードは、システムロック機能(46ページ)を有効にするための4桁の数字です。
- 工場出荷時は、パスワード、システムロックが未設定の状態ですので、他の人が勝手にパスワードやシステムロックを設定してしまう恐れがあります。
- システムロックを使用しない場合でも、他の人が勝手にパスワードやシステムロックが設定できないように、あらかじめパスワードを設定しておくことをおすすめします。

「オプション」メニュー画面の「パスワード」を選び、ENTER を押し、以下の手順でパスワードを入力する

メニュー画面の設定➡34ページ参照

1 **▲または▼を押し、パスワード番号の1桁目の数字を選択し▶を押す**

2 **同様に残りの3桁を入力しENTERを押す**

3 **確認欄にもう一度同じ数字を入力し、ENTERを押す**

メモ
- パスワードが設定されている場合は、「システムロック」を変更する前に、パスワード入力が必要です。

パスワードを変更する

1 **▼▲▶を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、ENTERを押す**

2 **新しいパスワードを▼▲▶を使って入力し、ENTERを押す**

3 **確認欄にもう一度同じパスワード4桁を入力し、ENTERを押す**

メモ
- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順2と手順3でパスワードを入力しないでENTERを押してください。
- 設定を途中で止めるときは、UNDOを押します。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除したあと、あらためてパスワードを設定してください。

本体のボタン ON → (VOL) → (VOL) → ON → (VOL) → (VOL) → INPUT **を順に押す**

メモ
- ONを3秒以上押すと、キーロック状態になります。(29ページ)
- パスワードを解除するときは本体のボタンを押してください。
- 「システムロック」が設定されている状態では上記の手順でパスワードを解除することはできません。「システムロック」が設定されている状態でパスワードを忘れてしまったときは、お客様自身でのリセットができません。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。くわしくは修理相談センター(74ページ)にご相談ください。

オプションメニューで本機を楽しむための設定をする（つづき）

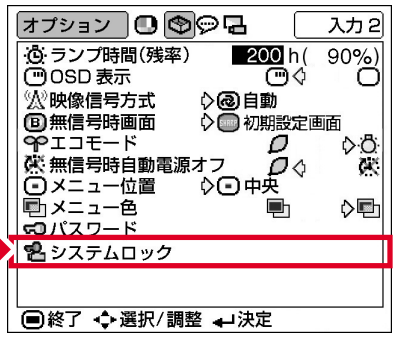
プロジェクターを不正に使用できないようにする（システムロック設定）

システムロックとは、キーコード（暗証ボタン）を設定することにより、本機を不正に使用できないようにするための機能です。システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。
設定したキーコードは必ずメモしてください。

「オプション」メニュー画面の「システムロック」を選び、ENTERを押し、以下の手順でキーコードを入力する

メニュー画面の設定➡**34**ページ参照

入力2 Sビデオモードの「オプション」メニュー画面例



キーコードを設定する

1 「オプション」メニューの「システムロック」を選び、ENTERを押す

- パスワード入力画面になります

▼パスワード入力画面

2 設定したパスワードを▲▼▶で入力する

- キーコード入力画面になります

▼キーコード入力画面

3 本体のボタンまたはリモコンのボタンを押し、キーコードを入力する

メモ

次のボタンはキーコードとして設定することができません。

- ON（電源入）ボタン
- STANDBY（スタンバイ）ボタン
- ENTER（決定）ボタン
- UNDO（戻す）ボタン
- MENU（メニュー）ボタン
- FORWARD（送り）ボタン
- BACK（戻し）ボタン

4 同様に残りの3桁を入力する

5 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

メモ

システムロックが設定されているとき

- 「システムロック」が設定されているときは、電源を入れたあとにキーコード入力欄が表示されるので、正しいキーコードを入力してください。
- システムロックは、パスワード（**45**ページ）を設定しないと選択できません。

お知らせ

- キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができませんので、設定したキーコードは、必ずメモしてください。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。くわしくは修理相談センター（**74**ページ）にご相談ください。

キーコードを変更する

キーコードを変更したいときには、以下の手順で変更する

- 「システムロック」を選ぶとパスワード入力欄が表示されます。パスワードを入力してからキーコードを変更してください。

1 リモコンまたは本体のボタンを押して、「旧コード」の欄に設定済みのキーコードを4桁入力する

2 リモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを4桁入力する

メモ

- キーコードを未設定状態にしたいときは手順**2**と手順**3**でキーコードを入力しないでENTERを押してください。

システムロックを設定したとき

システムロックを設定したときは、キーコードを入力し、以下の手順で解除する

▼キーコード入力画面

- システムロックを設定したときは、電源を入れた後、キーコード入力画面が表示されます。
- キーコードを入力しないと、プロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。

1 リモコンのONまたは本体のONを押して、電源を入れる

2 キーコード入力画面が表示されたら、設定したキーコードを入力する

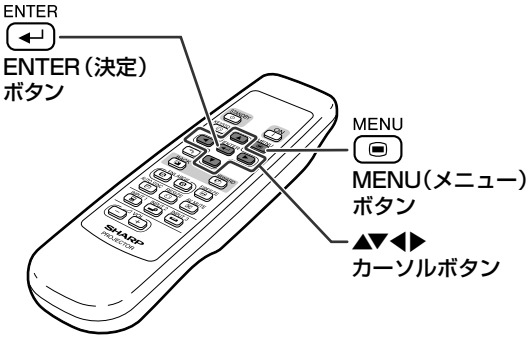
メモ

- キーコードは、本体のボタンとリモコンのボタンを区別して扱います。本体のボタンでシステムロックを設定した場合は本体のボタンで、リモコンのボタンで設定した場合はリモコンのボタンでキーコードを入力してください。

画面表示言語を日本語以外に変更する

画面に表示する言語を選択する（言語選択）

本機は表示画面の言語として英語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語に切り換えることができます。



「言語選択」メニューを選び設定する

1 **リモコンのMENUを押す**

- 選んでいる入力モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 **◀または▶を押し「言語選択」メニューのアイコン（💬）を選ぶ**

- 「言語選択」メニュー画面が表示されます。

3 **▲または▼で表示したい言語を選び、ENTERを押す**

- 選んだ言語表示になります。

4 **リモコンのMENUを押す**

- メニュー画面が消えます。

メモ

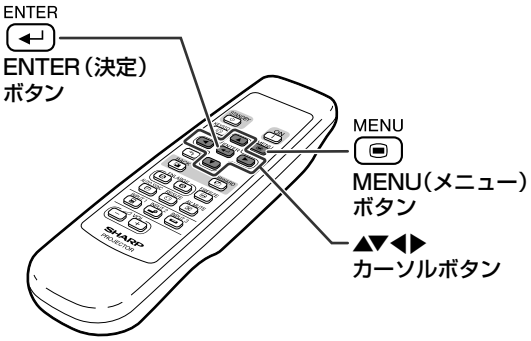
- 本体のボタンを使って操作することもできます。

投映環境に合わせた投映方式を選択する

映像を左右反転する（投映方式）

本機は投映する環境に合わせて映像を左右反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。

「投映方式」メニューを選び選択する



1 リモコンのMENUを押す

- 選んでいる入力モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ◀または▶を押し「投映方式」メニューのアイコン（）を選ぶ

- 「投映方式」メニュー画面が表示されます。

3 ▲または▼で「リア」を選び、ENTERを押す

投映方式の詳細

選択項目	内　容
フロント	通常映像
リア	左右反転された映像

4 リモコンのMENUを押す

- メニュー画面が消えます。

メモ

- 「リア」は映像をスクリーンの後ろから投映したり、鏡を使って投映する場合に設定します。詳しくは、**58**ページをご覧ください。
- 本体のボタンを使って操作することもできます。

コンピュータや映像機器を本体に接続する

接続する前に

メモ

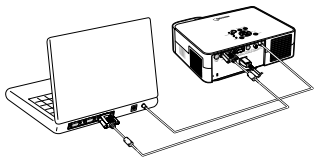
- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。
  コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。
- 接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

接続例

コンピュータとの接続

■コンピュータの画像を本体で投映するときは、RGBケーブルとコンピュータ音声ケーブル（φ3.5ステレオミニジャック市販品）を使って接続します。くわしくは**51**ページをご覧ください。

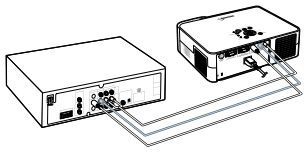
■コンピュータで本体を制御するときは、別売のDIN-D-sub RS-232Cアダプター「AN-A1RS」とRS-232Cケーブルクロス・メス-メスタイプ（市販品）または別売の「AN-C10RS（10m）」を使って接続します。くわしくは**54**ページをご覧ください。



ビデオ、オーディオ機器との接続

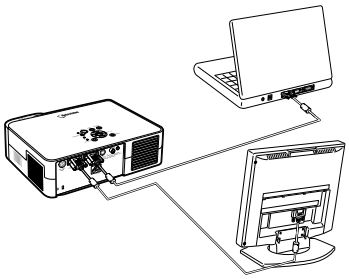
■ビデオやレーザーディスクなどと接続します。くわしくは**52**ページをご覧ください。

■DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどコンポーネント（色差）出力端子付機器と接続します。くわしくは**53**ページをご覧ください。



モニターとの接続

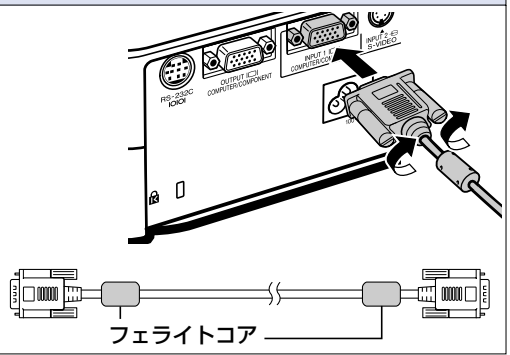
■RGBケーブルを使って接続します。くわしくは**55**ページをご覧ください。



固定ネジ付ケーブルの取り扱いについて

■ 固定ネジ付ケーブルが端子の形状に合っていることを確かめて差し込みます。両端のネジでしっかりと固定してください。

■ RGBケーブルについているフェライトコアは、電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



コンピュータを接続する

RGBケーブルを使って接続する

1 付属のRGBケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

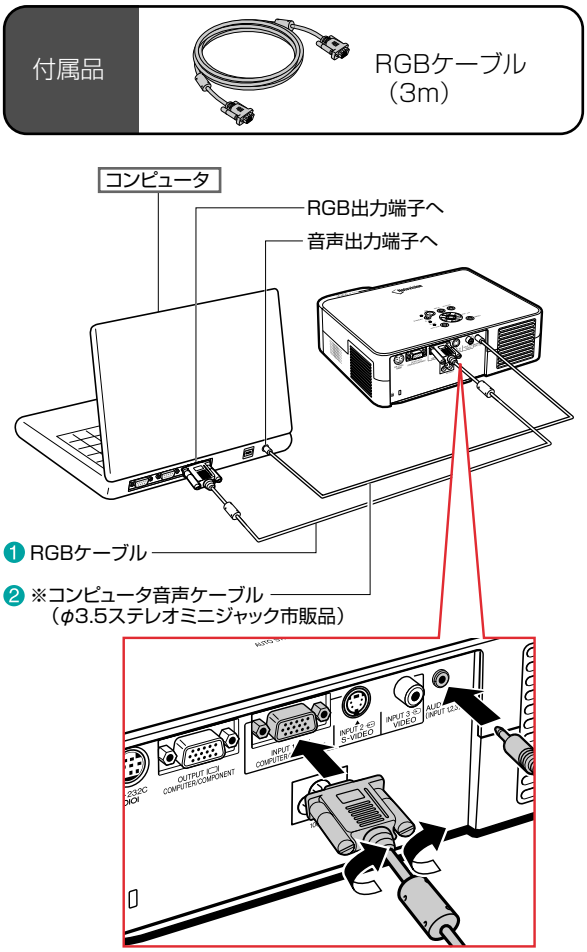
• ネジをしめて確実に接続してください。

2 音声を入力する場合は、コンピュータ音声ケーブル（市販品）を使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

メモ

- **この方法で接続したときに、コンピュータの投映画像が正常ではない映りと思われるときは、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を「自動」から「RGB入力」に設定し直してください。（38ページ）**
- 対応しているコンピュータの表示モードについては、**70**ページ「RGB入力信号（推奨信号）について」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター（**74**ページ）へお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。外部出力への切り換え方法についてはコンピュータのユーザーズマニュアルをご覧ください。

※モノラル音声ケーブルを使用した場合、ステレオ音声ケーブルに比べ音量レベルが約半分になります。



「プラグ&プレイ」機能（15ピン端子に接続する）

■ 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信（通信）しますので、早く簡単にセットアップすることができます。

■ 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

- 本機のDDC プラグ＆プレイ機能はVESA　DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

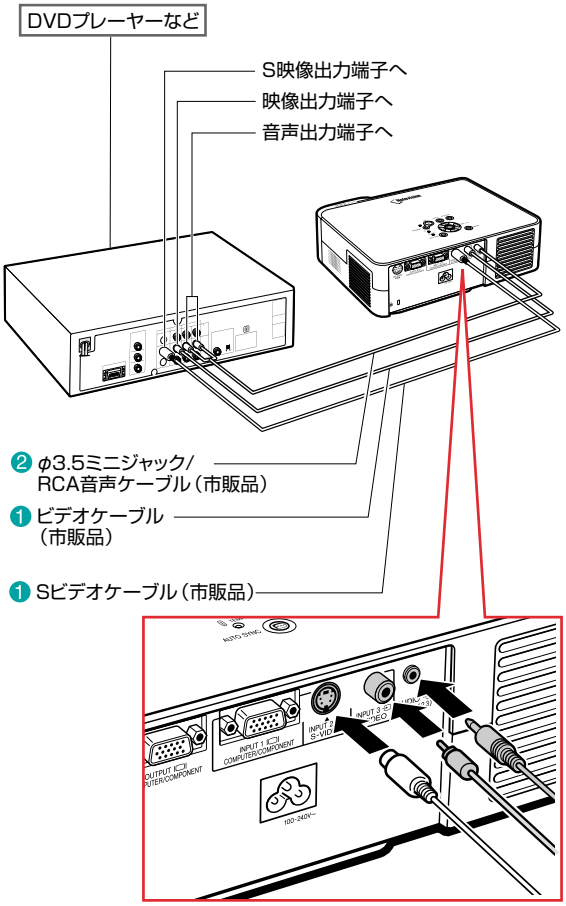
ビデオ機器を接続する

ビデオ機器を市販のSビデオケーブルやビデオケーブル、音声ケーブルを使って接続する

ビデオやレーザーディスクプレーヤーなどを市販のSビデオケーブルやビデオケーブル、音声ケーブルを使ってINPUT（入力）2端子、INPUT（入力）3端子、AUDIO（音声）端子に接続します。

1 市販のSビデオケーブルまたはビデオケーブルを使って、プロジェクターとビデオ機器を接続する

2 φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブル（市販品）を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する



メモ

- S-VIDEO（Sビデオ）端子は、色信号と輝度信号を分けることで、より高品位な画像を実現します。S-VIDEO（S映像）出力端子付のビデオ機器を接続するときは、市販のSビデオケーブルを使い、INPUT（入力）2のS-VIDEO（Sビデオ）端子に接続することをおすすめします。
- 音声ケーブル（市販品）は、φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器と接続する

DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなど、コンポーネント(色差)出力端子のある機器をINPUT1(入力1)端子に接続するときは、3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルを使い接続します。

1 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルを使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

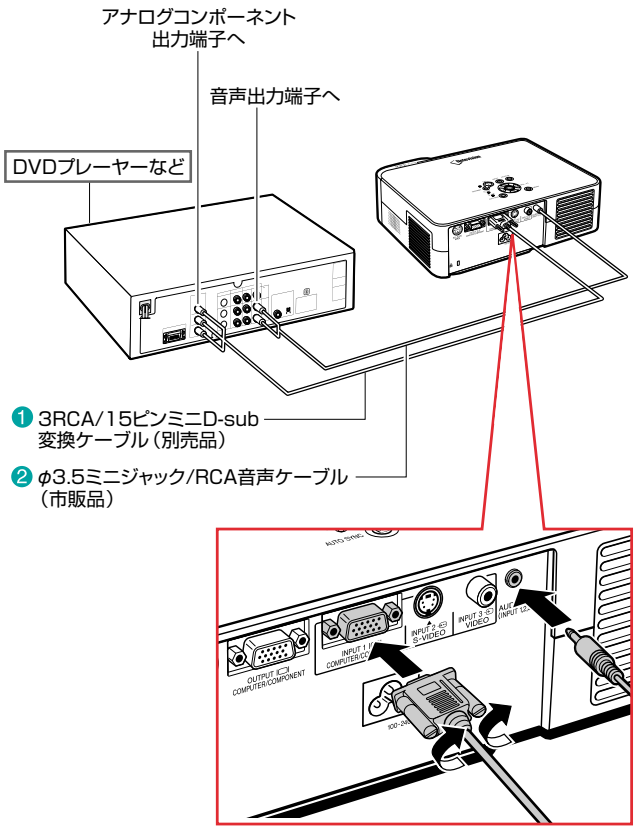
2 φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

メモ

- **この方法で接続したときに、ビデオ機器の投映画像が正常でない映りと思われるときは、「映像調整」メニューの「入力信号タイプ」を「自動」から「色差入力」に設定し直してください。(38ページ)**
- 525Pの信号を入力したときは、「特殊モード」の解像度を「480P」に設定してください。(39ページ)
- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。

別売品

3RCA/15ピンミニD-sub
変換ケーブル(3m)
形名:AN-C3CP



つづく

プロジェクターをコンピュータで制御する

コンピュータをDIN-D-sub RS-232Cアダプターと RS-232Cケーブルを使って接続する

RS-232Cケーブル クロス・メス-メスタイプ（市販または別売品「AN-C10RS（10m）」）を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル（RS-232C）ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。くわしくは**69**ページをご覧ください。

1 DIN-D-sub RS-232Cアダプター（別売品）をRS-232Cケーブル（市販または別売品）に接続する

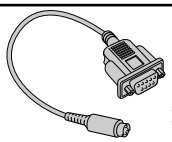
2 上記のケーブルを使って、プロジェクターとコンピュータを接続する

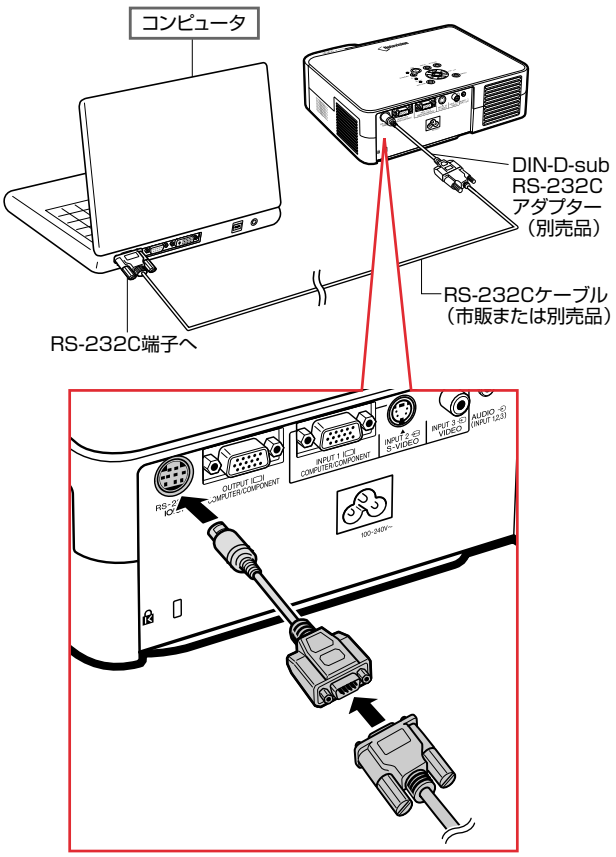
メモ

- RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。くわしくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- **RS-232Cケーブルの接続については、68ページもご覧ください。**

お知らせ

- コンピュータ側のシリアル（RS-232C）ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

別売品	
	 DIN-D-sub RS-232C アダプター（15cm） 形名：AN-A1RS
	RS-232Cケーブル（10m） 形名：AN-C10RS



RGB入力端子付きモニターを接続する

プロジェクターとモニターの両方で映像を見る

RGBケーブルを使って、コンピュータの出力をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。

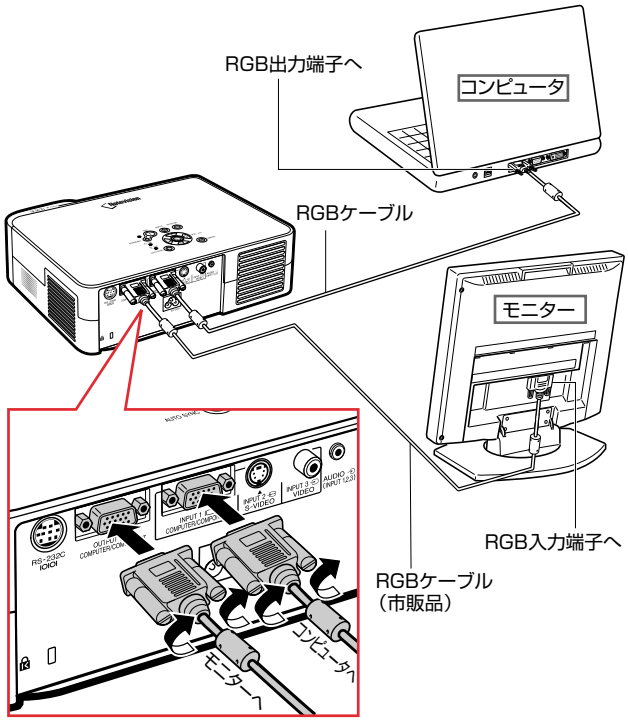
1 付属のRGBケーブルを使って、プロジェクターとコンピュータを接続する

2 市販のRGBケーブルを使って、プロジェクターとモニターを接続する

メモ

- RGB信号およびコンポーネント（色差）信号をモニター出力することができます。
- この接続をする場合、付属のRGBケーブルのほかにもう一本市販のRGBケーブルが必要になります。

付属品 RGBケーブル（3m）



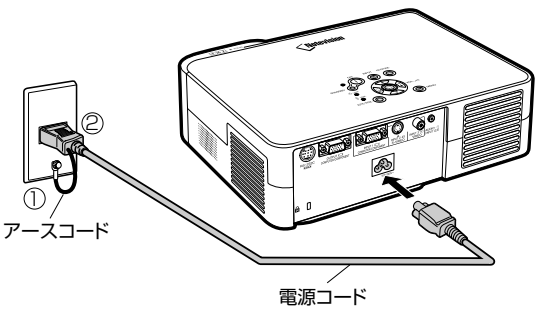
電源コードを接続する

電源コードの接続

プロジェクターの後面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

付属品 電源コード（1.8m）



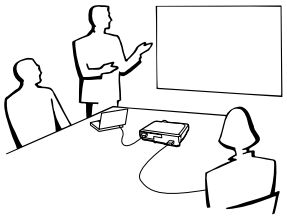
スクリーンを設置する

スクリーンの設置のしかた

プロジェクターを水平な状態にして（アジャスターを使わない状態）、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心（水平方向）にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んで見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。
- 本機は偏光スクリーンに対応しておりません。



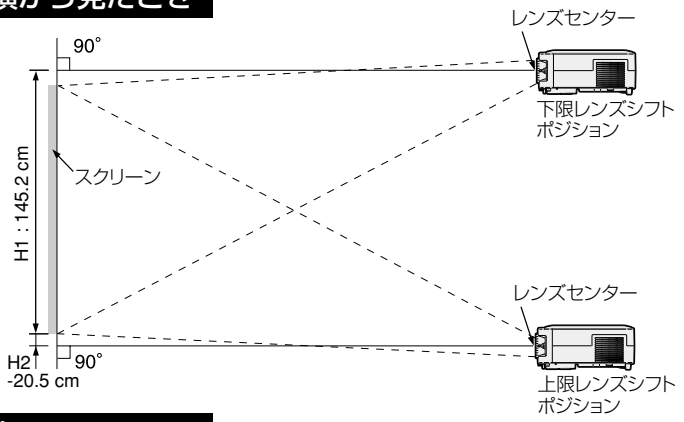
基本的な設置（前面からの投映）

■投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。（**57**ページ）

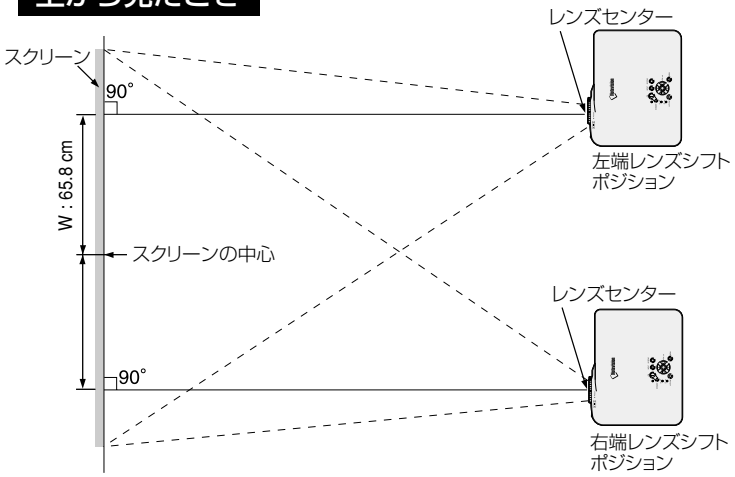
基本設置例

例: 画面サイズ: 100型　16:9スクイーズモード

横から見たとき



上から見たとき



●スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。
57ページ

●スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままで投映できます。投映した画面の左右が反転している場合は、「投映方式」メニューで、「フロント」に設定し直してください。
49ページ

●レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

画面サイズと投映距離

4：3ズームモード（コンピュータ入力時は、標準モードとなります。）26ページ参照

画面サイズ			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）		レンズセンター位置から画面の中心までの距離（W）	
対角（型）	幅（m）	高さ（m）	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	左端	右端
300	6.1	4.6	9.0 m	11.3 m	458.1 cm	0 cm	181.1 cm	181.1 cm
200	4.1	3.0	6.0 m	7.5 m	305.4 cm	0 cm	120.7 cm	120.7 cm
150	3.0	2.3	4.5 m	5.6 m	229.1 cm	0 cm	90.5 cm	90.5 cm
100	2.0	1.5	3.0 m	3.7 m	152.7 cm	0 cm	60.4 cm	60.4 cm
80	1.6	1.2	2.4 m	3.0 m	122.2 cm	0 cm	48.3 cm	48.3 cm
70	1.4	1.1	2.1 m	2.6 m	106.9 cm	0 cm	42.3 cm	42.3 cm
60	1.2	0.9	1.8 m	2.2 m	91.6 cm	0 cm	36.2 cm	36.2 cm
40	0.8	0.6	1.2 m	1.5 m	61.1 cm	0 cm	24.1 cm	24.1 cm

x ：画面サイズ（型）
L ：投映距離（m）
L1：最短投映距離
L2：最長投映距離
H ：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）
W ：レンズセンター位置から画面の中心までの距離（cm）

画面サイズと投映距離の近似式
$L1=0.0302x-0.035$
$L2=0.0377x-0.035$
$H1=1.5271x$
$H2=0$
$W=0.6036x$

16：9スクイーズモード

画面サイズ			投映距離（L）		レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（H）		レンズセンター位置から画面の中心までの距離（W）	
対角（型）	幅（m）	高さ（m）	L1:最短	L2:最長	H1:下限	H2:上限	左端	右端
300	6.6	3.7	9.8 m	12.3 m	435.6 cm	–61.4 cm	197.4 cm	197.4 cm
200	4.4	2.5	6.5 m	8.2 m	290.4 cm	–40.9 cm	131.6 cm	131.6 cm
150	3.3	1.9	4.9 m	6.1 m	217.8 cm	–30.7 cm	98.7 cm	98.7 cm
120	2.7	1.5	3.9 m	4.9 m	174.3 cm	–24.6 cm	78.9 cm	78.9 cm
100	2.2	1.2	3.3 m	4.1 m	145.2 cm	–20.5 cm	65.8 cm	65.8 cm
80	1.8	1.0	2.6 m	3.3 m	116.2 cm	–16.4 cm	52.6 cm	52.6 cm
70	1.6	0.9	2.3 m	2.8 m	101.6 cm	–14.3 cm	46.1 cm	46.1 cm
60	1.3	0.7	1.9 m	2.4 m	87.1 cm	–12.3 cm	39.5 cm	39.5 cm
40	0.9	0.5	1.3 m	1.6 m	58.1 cm	–8.2 cm	26.3 cm	26.3 cm

x ：画面サイズ（型）
L ：投映距離（m）
L1：最短投映距離
L2：最長投映距離
H ：レンズセンター位置から画面の最下端までの距離（cm）
W ：レンズセンター位置から画面の中心までの距離（cm）

画面サイズと投映距離の近似式
$L1=0.0329x-0.035$
$L2=0.041x-0.035$
$H1=1.452x$
$H2=-0.2047x$
$W=0.6579x$

メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“−”（マイナス記号）がついた値はレンズセンターからの直線距離がスクリーンより下になることを示しています。

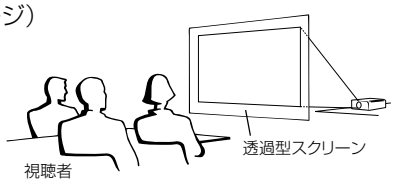
スクリーンを設置する(つづき)

反転映像を投映するとき

スクリーン背後からの投映

■ 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。

■ 「投映方式」メニューで「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(**49**ページ)

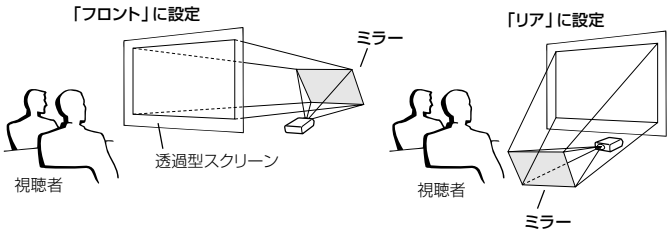


ミラーを使った投映

■ レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。

■ 図のように透過型スクリーンを視聴者とミラーの間に設置し投映するときは、「投映方式」メニューで「フロント」に設定してください。(**49**ページ)

■ 視聴者側にミラーを置くときは、「投映方式」メニューで「リア」に設定してください。(**49**ページ)

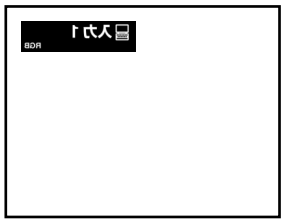


お知らせ

- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

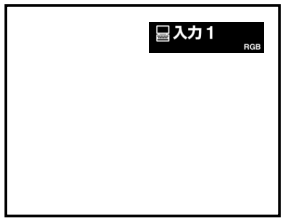
工場出荷時の設定で透過型スクリーンの背後からで投映する

▼画面表示



「リア」に設定すると…

▼画面表示



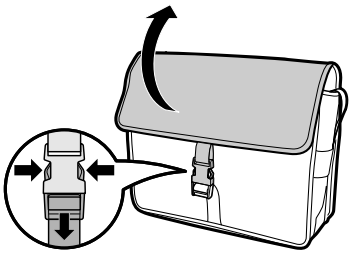
映像が左右反転します

プロジェクターを持ち運ぶ

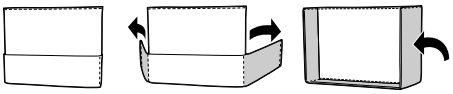
キャリングバッグの使いかた

プロジェクターを持ち運ぶときは、レンズ保護用ブロックとレンズキャップを装着して、付属のキャリングバッグに入れてください。

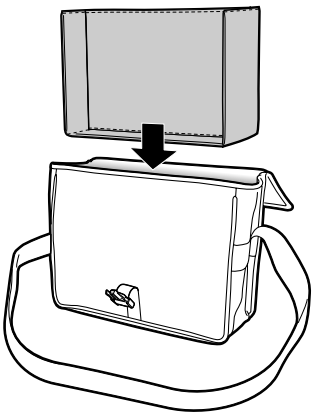
1 カバーを開ける



2 キャリングバッグからインナーパッドを取り出し、矢印の方向に折る



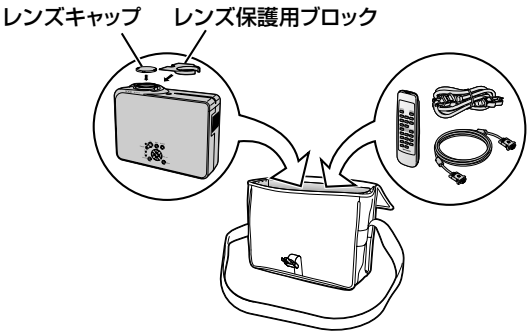
3 インナーパッドをキャリングバッグの中に入れる



お知らせ

- レンズや本体を保護するため、インナーパッドは必ず装着してください。

4 本体と付属品をキャリングバッグに収納する

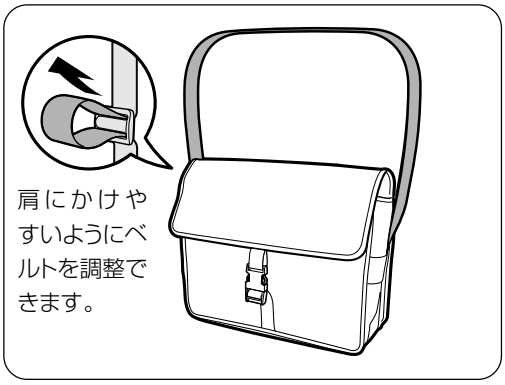


お知らせ

- レンズを保護するため、レンズ保護用ブロックとレンズキャップを装着してください。（**10**、**11**ページ）
- 本体が十分冷えてから収納してください。

お知らせ

- このキャリングバッグはプロジェクターの収納および持ち運び専用です。
- トラック便などでの運送用として使用しますと、外部の損傷や機器の故障の原因になります。運送用として使用するときは緩衝材を使用し、パッキングケース等に入れた状態で行ってください。
- 直射日光の当たる場所や、閉めきった自動車内、熱器具などの近くに放置しないでください。キャリングバッグやプロジェクターの変形・変色の原因になります。



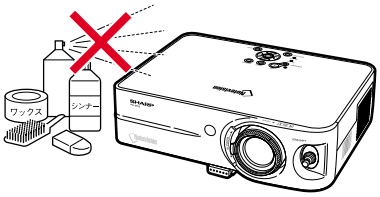
お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

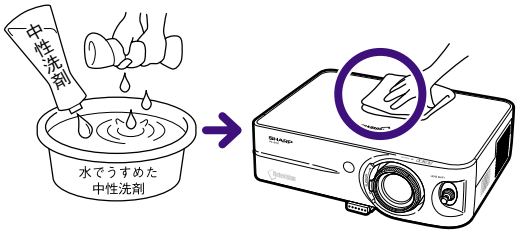
■ キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

■ キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。

■ 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



■ 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

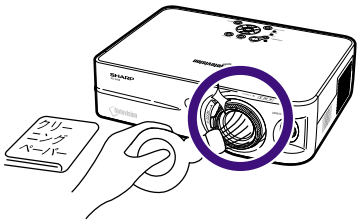


■ 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

レンズの手入れのしかた

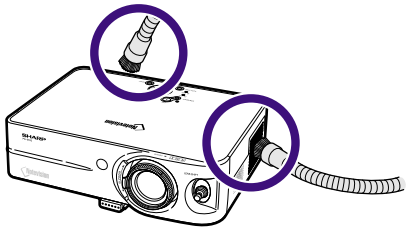
■ レンズの清掃は、市販のブロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

■ 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



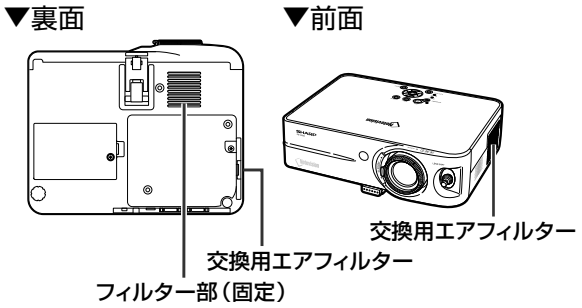
排気孔や吸気孔の手入れのしかた

■ 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



エアフィルターのお手入れのしかた

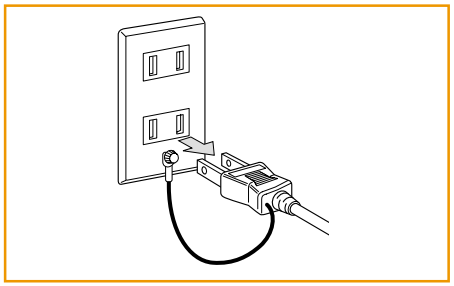
- エアフィルターは、約100時間を目安に掃除を行ってください。特にほこりやタバコの煙などが多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。
- エアフィルターのほこりが取れなくなりましたら、フィルターの交換時期です。付属の交換用エアフィルターと交換してください。

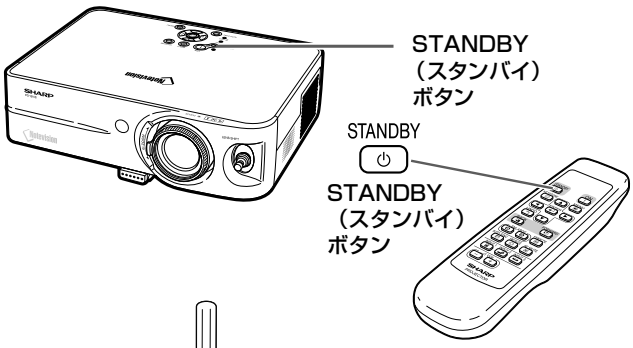


側面のエアフィルターの掃除または交換

1 電源を待機状態にし、電源プラグをコンセントから抜く

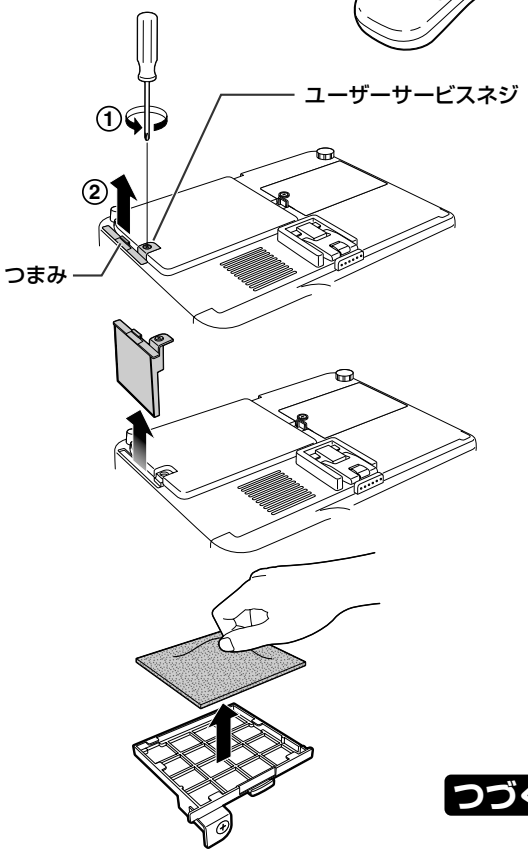
- 本体のSTANDBY ⏻またはリモコンのSTANDBY ⏻を押し、冷却ファンが停止するまで待ちます。
- アース線の取り外しは、必ず電源プラグを抜いた後、行ってください。





2 底部のフィルターカバーを外す

- プロジェクターを裏返しにして、フィルターカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます（①）。つまみを押しながら、矢印の方向にフィルターカバーを取り外します（②）。



3 エアフィルターを取り外す

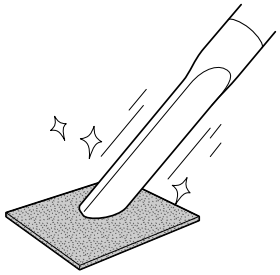
- エアフィルターをつまんで外します。

つづく

エアフィルターのお手入れのしかた（つづき）

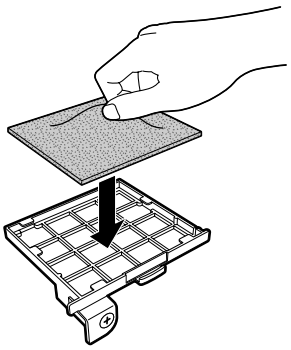
4 エアフィルターを掃除（交換）する

• 掃除機で、フィルターおよびカバーのほこりを吸い取ります。



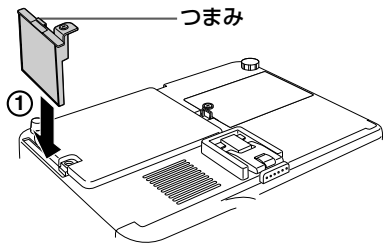
5 エアフィルターを元に戻す（取り付ける）

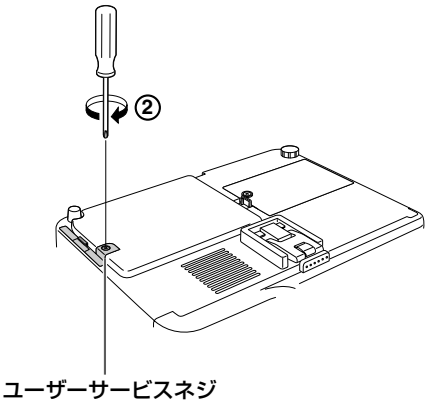
• エアフィルターをもとどおりに取り付けます。



6 フィルターカバーを取り付ける

• フィルターカバーのつまみを押しながら矢印の方向に、フィルターカバーを取り付けます（①）。ユーザーサービスネジを閉め、フィルターカバーを固定します（②）。



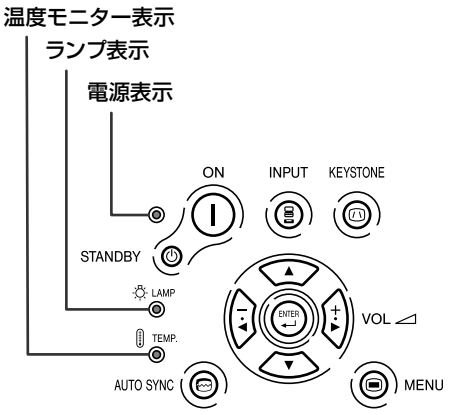


メモ

- フィルターカバーはしっかり取り付けてください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。（電源表示が赤で点滅します。）
- フィルター部（固定）は、取り外すことができません。ゴミ、ほこりが付着したときは、掃除機で吸い取ってください。
- 交換用エアフィルターをご購入の際は、販売店、またはもよりのお客様相談センター（**74**ページ）にご相談ください。

お知らせ表示について

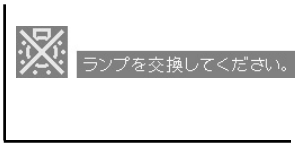
■本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
■内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターお知らせ表示もしくはランプ表示が赤色に点灯し電源が待機状態になります。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に"温度"が点灯します。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニター表示が点滅、９０秒のファン冷却後、待機状態になります。画面左下に"温度"の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。

ランプ交換お知らせ機能について



■「ランプ時間(残率)」は、「エコモード」設定を「」(エコモード)にして約4,000時間使用するか、「」(標準モード)にして約2,000時間使用すると0%になります。くわしくは**41**、**43**ページをご覧ください。
■ランプ残率が5%以下になると、「」(黄色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「」(赤色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が待機状態になります。このとき、ランプ表示が赤色点灯します。
■ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

お知らせ表示			現　象	考えられる原因	処置のしかた
	正　常	異　常			
温度モニター表示	消　灯	赤色点灯 待機状態	内部温度が高温になっている	●通風孔がふさがれている	●正しい設置場所に設置してください。(**8**ページ) ●**61**ページの手順に従って、エアフィルターのお手入れを行ってください。
				●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障 ●内部通風孔の目づまり	●販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**74**ページ）に修理を依頼してください。
ランプ表示	緑色点灯 (緑色点滅は光源起動中)	赤色点灯	ランプ交換時期	●ランプ残率が5%以下になった	●ランプを交換してください。（**66**ページ） ●ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**74**ページ）にお問い合わせください。 ●ランプを交換するときは、注意して行ってください。
		赤色点灯 待機状態	ランプ（光源）が点灯しない	●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障	
電源表示	赤／緑色点灯	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	●フィルターカバー・ランプユニットカバーが外れている	●フィルターカバー・ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。 ●フィルターカバー・ランプユニットカバーをしっかり取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口（**74**ページ）にお問い合わせください。

つづく

お知らせ表示について（つづき）

お知らせ

- 温度モニター表示が点滅し、電源が待機状態になったときは、処置（**63**ページ）を行った後、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(5分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- プロジェクターを使用しているときに、停電などで一瞬電源が切れた直後に電源が復旧した場合、ランプ表示が赤色点灯し、ランプが点灯しなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、再度電源を入れ直してください。
- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体のSTANDBY ⏻またはリモコンのSTANDBY ⏻を押して電源を待機状態にした後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。
- 投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

ランプを交換する

ランプについて

■ 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（41ページ参照）

■ ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコモード：ランプ残率約75% / 標準モード：ランプ残率約50%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

■ ランプ（別売）は、シャープエンジニアリング（株）の製品です。

■ ランプの取り換えは、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター（74ページ）にお問い合わせください。

⚠警告

- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。

ランプ使用上のご注意

■ プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。

■ 「ランプ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。

■ 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

⚠警告

- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。

ランプ交換時のご注意

⚠警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ランプ交換ユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプ交換ユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。

■ 新しいランプ交換ユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。BQC-PGB10S//1に対応したランプ交換ユニットをお近くの販売店でご購入ください。ランプ交換は、ここで説明している操作手順に従い注意して行ってください。なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。

つづく

ランプを交換する（つづき）

ランプ交換のしかた

お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプ交換ユニットを取り外してください。ランプ交換ユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- ランプユニットカバーとランプ交換ユニット以外のネジは絶対に外さないでください。
- ランプ交換ユニットに付属されているランプ交換説明書も合わせてご覧ください。

1 本体のSTANDBY ⏻ またはリモコンのSTANDBY ⏻ を押しプロジェクターを待機状態にする

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

⚠ 警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

2 電源コードをプロジェクターから取り外す

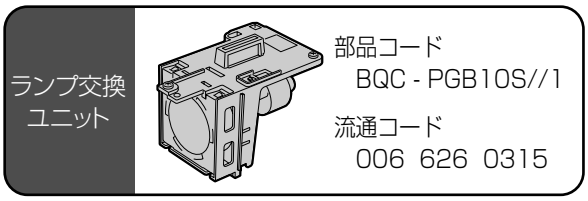
- 電源コードをAC電源ソケットから外します。
- **ランプ交換ユニットが十分冷えるまで（約1時間）放置します。**

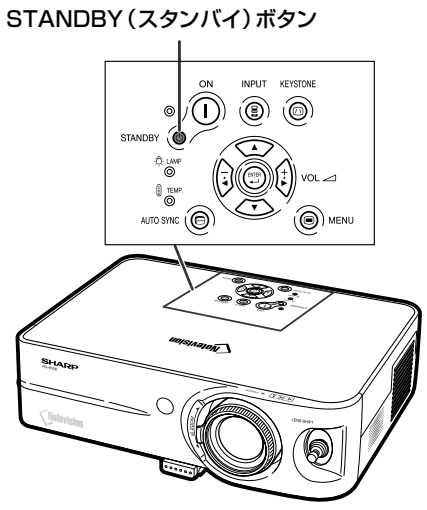
3 エアフィルターを交換する

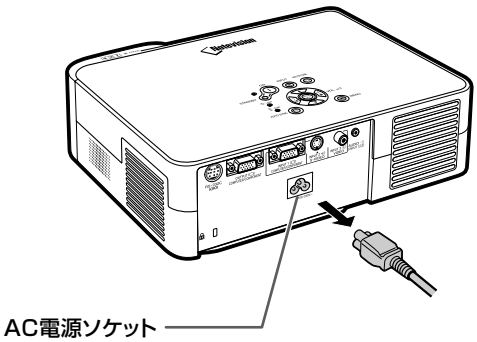
- ランプを交換するときは、エアフィルターも同時に交換してください。
- エアフィルターの交換のしかたは、**61**ページをご覧ください。

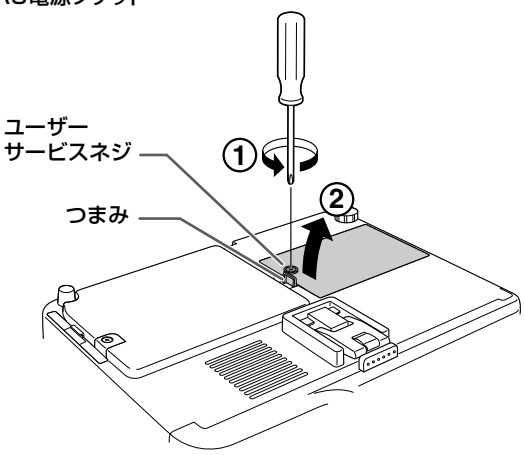
4 ランプユニットカバーを取り外す

- プロジェクターを裏返しにして、ランプユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます（①）。つまみを押しながら、矢印の方向にランプユニットカバーを取り外します（②）。









5 ランプ交換ユニットを取り外す

- 固定ネジをランプ交換ユニットから取り外します。取っ手をつかみ、ランプ交換ユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。

6 新しいランプ交換ユニットを挿入する

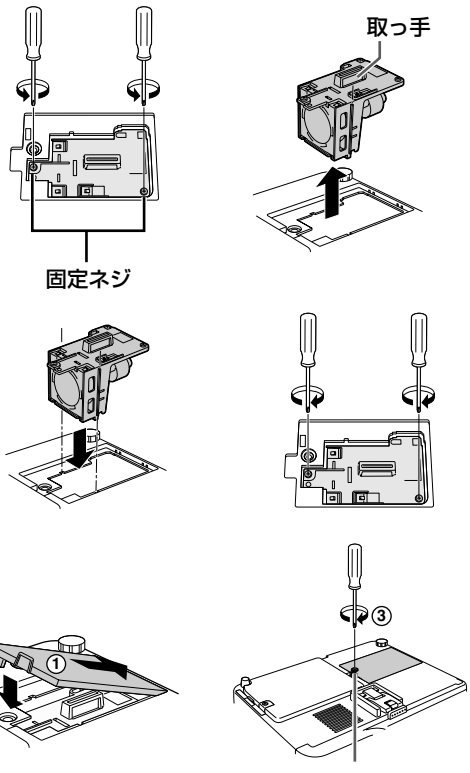
- ランプ交換ユニットをしっかりとランプ交換ユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

7 ランプユニットカバーを取り付ける

- ランプユニットカバーのタブを本体に合わせ（①）、つまみを押しながらランプユニットカバーを取り付けます（②）。ユーザーサービスネジを閉め、ランプユニットカバーを固定します（③）。

お知らせ

- 電源コードが接続されていてもランプ交換ユニットとランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。



ランプ使用時間をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

1 電源コードをプロジェクターに接続する

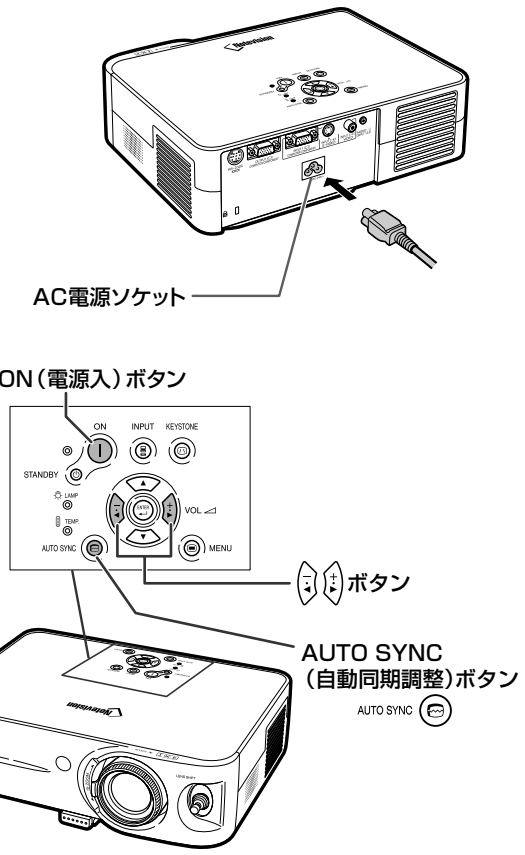
- 電源コードをプロジェクターのＡＣ電源ソケットに接続します。

2 ランプ使用時間をリセットする

- プロジェクター本体の（−）と AUTO SYNC を2つ同時に押しながら、ON（電源入）と（＋）を押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。

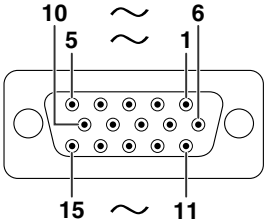
お知らせ

- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外は行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。



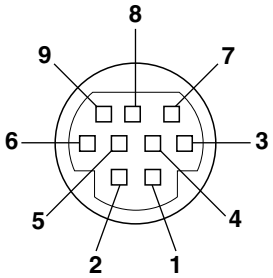
本体のコネクターのピン配置

入力1 RGB信号端子とRGB出力信号端子：15ピンミニD-subコネクター（メス）



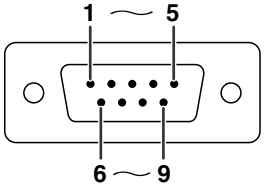
RGB入力	コンポーネント（色差）入力
1. 映像入力（赤）	1. P_R (C_R)
2. 映像入力（緑／シンクオングリーン）	2. Y
3. 映像入力（青）	3. P_B (C_B)
4. NC	4. NC
5. NC	5. NC
6. 接地（赤）	6. 接地 (P_R)
7. 接地（緑／シンクオングリーン）	7. 接地 (Y)
8. 接地（青）	8. 接地 (P_B)
9. NC	9. NC
10. 接地	10. NC
11. NC	11. NC
12. データ	12. NC
13. 水平同期信号	13. NC
14. 垂直同期信号	14. NC
15. クロック	15. NC

RS-232C端子：9ピンミニDINコネクター（メス）



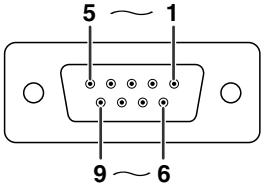
ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4				NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6				NC
7	RS			ピン番号8に接続
8	CS			ピン番号7に接続
9				NC

DIN-D-sub RS-232Cアダプター：9ピンD-subコネクター（オス）



ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4				NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6				NC
7	RS			内部回路に接続
8	CS			内部回路に接続
9				NC

RS-232Cケーブルの推奨接続：9ピンD-subコネクター（メス）



ピン番号	信号		ピン番号	信号
1	CD		1	CD
2	RD	―	2	RD
3	SD	―	3	SD
4	ER	―	4	ER
5	SG	―	5	SG
6	DR	―	6	DR
7	RS	―	7	RS
8	CS	―	8	CS
9	CI		9	CI

メモ

- 使用するコントロール機器（コンピュータなど）によってはピン4とピン6を接続する必要があります。

プロジェクターのピン番号		コンピュータのピン番号
4	―	4
5	―	5
6	―	6

RS-232C仕様とコマンドの設定

コンピュータによるプロジェクターの制御

コンピュータをRS-232Cシリアル制御ケーブル（クロスタイプ、別売品）でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。（接続については**54**ページをご覧ください。）

通信条件

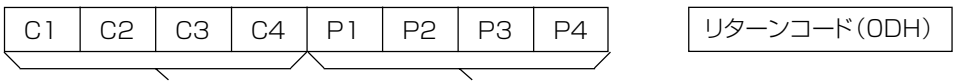
コンピュータのシリアルポートを、次のように設定します。

信号形式　：RS-232C規格に準拠
ボーレート　：9,600 bps
データ長　：8ビット
パリティビット：なし
ストップビット：1ビット
フロー制御　：なし

基本形式

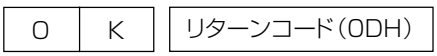
コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。

コマンド形式

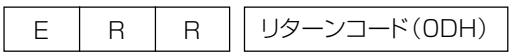


レスポンスコード形式

通常のレスポンス



問題のあるレスポンス（通信エラーや不正なコマンド）



お知らせ

- コンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、30秒以上待ってからコマンドを送信してください。
- 複数のコードを送信する場合には、前のコマンドのレスポンスコードがプロジェクターから送られたあとで、次のコマンドを送信してください。

コマンド

例: プロジェクターの電源を入れる場合

	制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
ボタン&リモコンのキー	電源オフ（待機状態）	POWR	___0	OK または ERR
	電源オン	POWR	___1	OK または ERR
	入力1	IRGB	___1	OK または ERR
	入力2	IVED	___1	OK または ERR
	入力3	IVED	___2	OK または ERR
	入力1 入力信号タイプ：自動	IASI	___0	OK または ERR
	入力1 入力信号タイプ：RGB	IASI	___1	OK または ERR
	入力1 入力信号タイプ：色差入力	IASI	___2	OK または ERR
	ランプ使用時間（時間）	TLTT	___1	0–9999
	ランプ残率（パーセンテージ）	TLTL	___1	0–100
	ランプの状態	TLPS	___1	0:オフ、1:オン、2:再試行、3:待機中、4:ランプのエラー
	プロジェクターの状態	TABN	___1	0:正常、1:高温、2:冷却ファンのエラー、 4:フィルターカバーまたはランプユニットカバーの取り付けエラー、 8:ランプ残率5%以下、16:ランプ切れ、 32:ランプ不点灯、64:異常高温
	モデル名の確認	TNAM	___1	モデル名
	AV ミュートオフ	IMBK	___0	OK または ERR
	AV ミュートオン	IMBK	___1	OK または ERR
	自動同期調整	ADJS	___1	OK または ERR

メモ

- パラメータの列でアンダーバー（_）のところには、スペースを入力します。

RGB入力信号(推奨信号)について

コンピュータ

- 幅広い信号に対応
  水平周波数：15kHz～70kHz
  垂直周波数：43Hz～85Hz
  ドットクロック：12MHz～108MHz
  同期信号：TTLレベルに対応。
- シンクオングリーン信号に対応。
- 圧縮表示により、SXGA+、SXGA、XGAに対応。
- 圧縮表示／拡大表示技術採用。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	ディスプレイ PG-B10S
PC	VGA	640 × 350	27.0	60		拡大表示
			31.5	70		
			37.5	85	✔	
		640 × 400	27.0	60		
			31.5	70		
			37.9	85	✔	
		720 × 350	27.0	60		
			31.5	70		
		720 × 400	27.0	60		
			31.5	70		
			37.9	85	✔	
		640 × 480	26.2	50		
			31.5	60	✔	
			34.7	70		
			37.9	72	✔	
			37.5	75	✔	
			43.3	85	✔	
	SVGA	800 × 600	31.4	50		リアル表示
			35.1	56	✔	
			37.9	60	✔	
			46.6	70		
			48.1	72	✔	
			46.9	75	✔	
			53.7	85	✔	
	XGA	1,024 × 768	35.5	43		圧縮表示
			40.3	50		
			48.4	60	✔	
			56.5	70	✔	
			60.0	75	✔	
			68.7	85	✔	
	SXGA	1,152 × 864	55.0	60		
			66.2	70		
			67.5	75	✔	
		1,280 × 1,024	64.0	60	✔	
	SXGA+	1,400 × 1,050	64.0	60		
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67		拡大表示
MAC 16"	SVGA	832 × 624	49.7	75		圧縮表示
MAC 19"	XGA	1,024 × 768	60.2	75		
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.7	75		

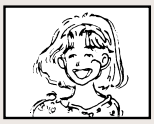
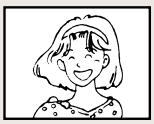
メモ

- 本機は、同時（CRT/LCD)モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの操作マニュアルに記載されています。
- 本機は640×350 VESA 形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。
- RGB形式のインターレース映像信号を本機のINPUT 1に入力して投映するとき、「入力信号タイプ」を「自動」または「RGB入力」に設定していると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。

DTV

入力信号	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
525I	15.7	60
525P	31.5	60
540P	33.8	60
580I	15.6	50
580P	31.3	50
750P	45.0	60
1125I	28.1	50
1125I	33.8	60
1035I	28.1	50
1035I	33.8	60

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、またはプロジェクターが始動しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	55
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択（入力モード）がまちがっていませんか。	19
	●AVミュートの機能が働いていませんか。	20
	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	51～55
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	15
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	51
	●フィルターカバー・ランプユニットカバーは正しく取り付けられていますか。	61、66
 音声は出るが映像が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	51～55
	●映像調整の「明るさ」が「−(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	36
 色がうすい、色あいが悪い	●映像調整は、正しく調整されていますか。	36
	〈ビデオ入力のとき〉 ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	42
	〈入力1のとき〉 ●入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	38
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカス（ピント）は合っていますか。	22
	●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	57
	〈コンピュータ入力のとき〉 ●同期調整(クロック調整)を行ってください。	39
	●同期調整(位相調整)を行ってください。	39
	●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	(-)
 映像は出るが音声が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	51～55
	●音量が最小になっていませんか。	19
キャビネットから時々「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	63
本体ボタンで電源を入／待機状態にできない	●キーロックが設定されていませんか。 「ON」に設定されている場合、すべてのボタンが働きません。	29

つづく

故障かな?と思ったら（つづき）

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1の コンポーネントモードで 画面が緑がかる	● 入力信号タイプが正しく設定されていますか。	38
入力1の RGBモードで 画面がピンクがかる		
映像が暗い	● ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	63、65
映像が明るすぎて 白っぽくなる	● 映像調整は、正しく調整されていますか。	36

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。

- **保証期間**
  - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
  - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。
    （6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（**74**ページ）にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？と思ったら」（**71**ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	：液晶プロジェクター
形　　名	：PG-B10S
お買いあげ日	：（年月日）
故障の状況	：（できるだけ具体的に）
ご　住　所	：（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お　名　前	：
電話番号	：
ご訪問希望日	：

保証期間中
修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

便利メモ　お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販　売　店　名
年　　月　　日	電話（　　）　　—

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検

長年ご使用のプロジェクターの点検を！
こんな症状はありませんか？

●電源コードやプラグが異常に熱い。●電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。●画面が映ったり、消えたりする。●映像が乱れたり、色がきれいに出ない。●その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は …… **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は …… **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● **修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）**

■受付時間　＊月曜～土曜：午前９時～午後６時　＊日曜・祝日：午前10時～午後５時 （年末年始を除く）

ナビダイヤル

0570 - 02 - 4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

（注） 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		＜東日本地区＞	＜西日本地区＞
○ 携帯電話／PHSでのご利用は ……	一般電話	043 - 299 - 3863	06 - 6792 - 5511
○ FAXを送信される場合は ……	FAX	043 - 299 - 3865	06 - 6792 - 3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■受付時間　＊月曜～土曜：午前９時～午後５時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は……＊月曜～金曜：午前９時～午後５時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒１条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170番１
	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄･奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間　＊月曜～土曜：午前９時～午後６時　＊日曜・祝日：午前10時～午後５時 （年末年始を除く）

東日本相談室	TEL **043 - 297 - 4649**	FAX **043 - 299 - 8280**	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL **06 - 6621 - 4649**	FAX **06 - 6792 - 5993**	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（03.08）

仕様

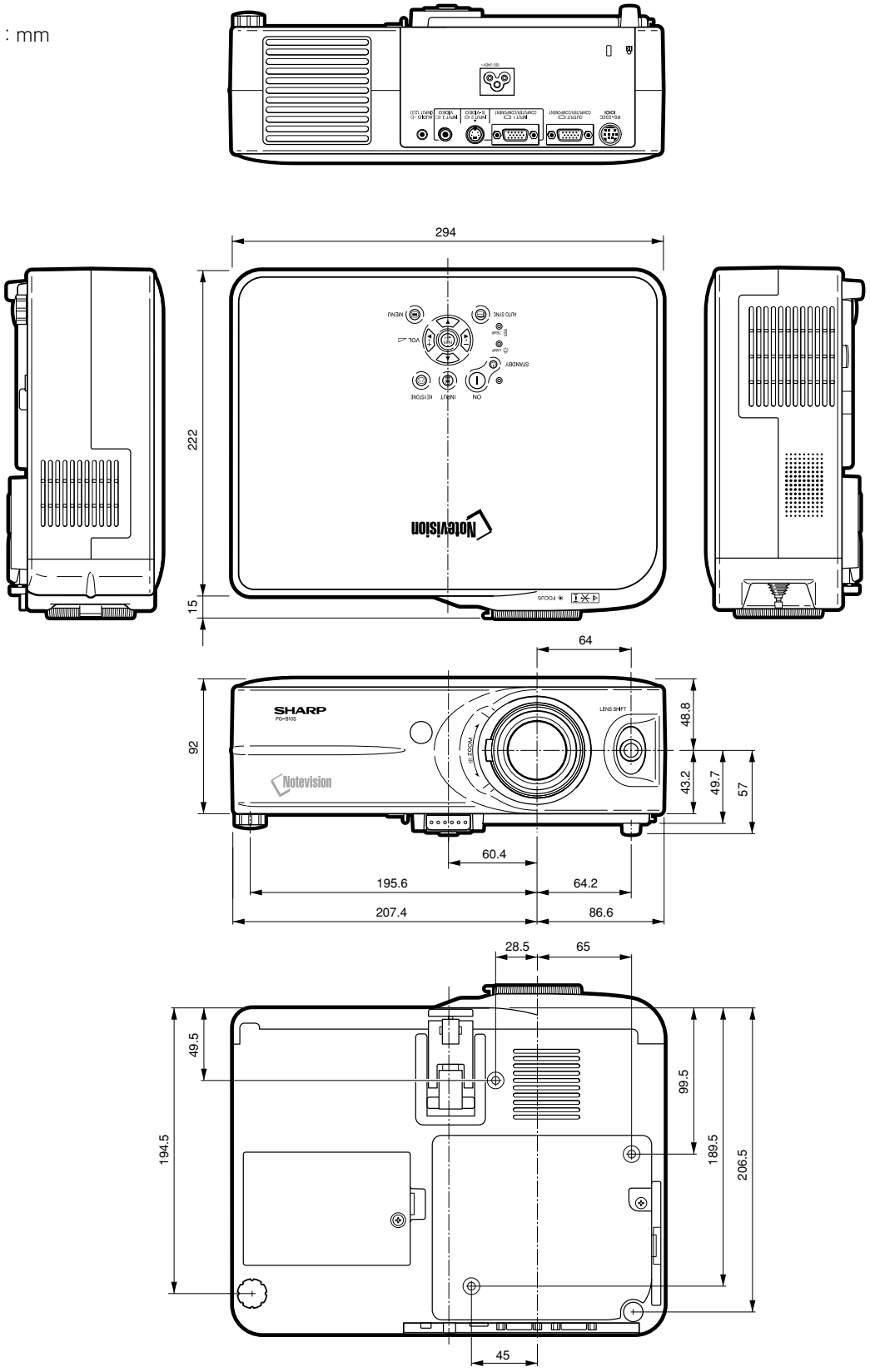
品名		液晶プロジェクター
形名		PG-B10S
表示方式		液晶パネル×3、RGB光学シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ	0.55 型（縦8.5mm×横11.2mm）
	画素数	480,000（横800×縦600）ドット
レンズ		1～1.25倍手動ズームレンズ　F1.6～1.9　f 16.8mm～20.9mm
ランプ		130W
音声出力		1.0W（モノラル）
スピーカー		丸型2.8cm×1
定格電圧		AC100V～240V
定格周波数		50/60Hz
入力電流		1.9A
消費電力		AC100V時：185W（標準モード時）/170W（エコモード時） AC240V時：175W（標準モード時）/160W（エコモード時）
消費電力（電源スタンバイ時）		4W（AC100V）～6W（AC240V）
使用温度範囲		5℃～35℃
保管温度範囲		-20℃～+60℃
入力・出力端子	コンピュータRGB/コンポーネント入力端子（INPUT1）	RGB分離型アナログ信号／コンポーネント信号　：15ピンミニD-sub端子（INPUT1） ：Y1.0Vp-p（75Ω） ：P_B0.7Vp-p（75Ω） ：P_R0.7Vp-p（75Ω）
	音声入力端子（INPUT1／2／3）	音声：0.5Vrms、22kΩ以上　：φ3.5ミニジャック端子（INPUT1/2/3）
	S映像入力端子（INPUT2）	輝度信号入力：1.0Vp-p、75Ω、同期負：4ピンミニDINコネクター 色信号入力：0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	ビデオ入力端子（INPUT3）	映像：1.0Vp-p、75Ω、同期負　：RCAピン端子
	RGB出力端子（OUTPUT）	RGB分離型アナログ信号／コンポーネント信号　：15ピンミニD-sub端子（INPUT1用） ：Y1.0Vp-p（75Ω） ：P_B0.7Vp-p（75Ω） ：P_R0.7Vp-p（75Ω）
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅 294mm、奥行222mm、高さ 92mm（突起部除く）
質量		2.7kg

お願い

- **液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。**
- **ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。**

寸法図

単位：mm


294
222
15
64
92
48.8
43.2
49.7
57
60.4
195.6
64.2
207.4
86.6
28.5
65
49.5
194.5
99.5
189.5
206.5
45

用語集

sRGB（37ページ）
IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードを「ON」に設定すると、液晶の特性を考慮した色変換を行い、原画像に基づいた自然な色合いで表示します。

圧縮表示／拡大表示（70ページ）
解像度が低い、または高い映像を投映する場合、プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サイズを調整します。

色温度（36ページ）
プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げて、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

画像表示モード（26ページ）
入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。「標準」、「ドットバイドット」、「ボーダー」、「スクイーズ」、「ズーム」から選択できます。

ガンマ補正（37ページ）
映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合に、映像を見やすくする機能です。「標準」、「プレゼンテーション」、「シネマ」、「ゲーム」から選択できます。

キーストーン補正（20ページ）
プロジェクターの映像を投映したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

キーロック（29ページ）
いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン（キー）操作をロックできます。

クロック調整（39ページ）
コンピュータ入力時、映像の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

システムロック（46ページ）
プロジェクターに設定された「キーコード」を入力しないと、信号を入力しても画像を投映できなくする機能です。

自動同期調整（40ページ）
コンピュータの画像を最良な状態で投映する機能です。

水平位相（39ページ）
同じ解像度を保ったまま、走査のタイミングを調整します。水平位相が最適でないとき、横方向のノイズをともなって、映像がチカチカします。

スクイーズ（26ページ）
16：9のワイド画像を4：3（縦長サイズ）に圧縮したスクイーズ映像を投映するとき、映像を均一に左右に引き伸ばして、16：9スクリーンいっぱいに投映するモードです。

縦横比（26ページ）
映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

ドットバイドット（26ページ）
映像をもとの解像度で投映するモードです。

パスワード（45ページ）
システムロック機能を有効にするための4桁の数字です。

標準（26ページ）
コンピュータ入力信号の場合
- 投映比率を維持したまま、4：3スクリーンの内側いっぱいに画像全体を投映します。

ビデオ入力信号の場合
- 4：3画像を16：9スクリーンの内側いっぱいに投映します。（画面の両端がマスクされます。）

ボーダー（26ページ）
パネルの上下左右をカットした4：3部分にアスペクト比を保ったまま画像を投映するモードです。

無信号時画面（42ページ）
信号が入力されていないときに投映される初期設定映像です。

レンズシフト（24ページ）
レンズシフトレバーを使い、上下左右（360°）レンズを動かすことによって、投映位置を調整できます。

索引

記号英数

AC電源ソケット 55
AUDIO INPUT（音声入力）端子 51
AUTO SYNC（自動同期調整）ボタン 39
AV MUTE（AVミュート）ボタン 20
BACK（戻し）ボタン 14
DIN-D-sub RS-232Cアダプター 54
ENLARGE（拡大/縮小）ボタン 28
ENTER（決定）ボタン 33
FORWARD（送り）ボタン 14
FREEZE（静止画）ボタン 28
INPUT（入力）1端子 51
INPUT（入力）2端子 52
INPUT（入力）3端子 52
INPUT（入力切換）ボタン 19
KEYSTONE（キーストーン補正）ボタン 20
MENU（メニュー）ボタン 32
OSD表示 41
ON（電源入）ボタン 18
RESIZE（画像サイズ切換）ボタン 26
RGBケーブル 51
RGB出力端子 55
RS-232C端子 54
sRGB 37
STANDBY（スタンバイ）ボタン 21
UNDO（戻す）ボタン 21
VOLUME（音量）ボタン 19

ア行

青 36
赤 36
明るさ 36
アジャスター 23
色あい 36
色温度 36
色の濃さ 36
エアフィルター 61
映像信号方式 42
映像調整 36
エコモード 43
オプション 41
温度モニター表示 63
温度モニター機能 63

カ行

カーソルボタン 32
画質 36
乾電池 15
ガンマ 37
キーコード 46
キーストーン補正 20
キーロック 29
キャリングバッグ 59
吸気孔 ..... 10、60
クロック 39
言語選択（画面表示言語） 48
後部アジャスター 23
コントラスト 36
コンピュータ画面の調整 39

サ行

システムロック 46
自動同期調整（AUTO SYNC） 40
ズーム（表示イメージ） 27
ズームレバー 22
垂直位置 39
水平位相 39
水平位置 39
スクイーズ（表示イメージ） ..... 26、27

タ行

高さ調整ボタン 23
電源コード 55
電源表示 63
投映方式（映像左右反転） 49
同期調整 39
盗難防止用コネクター 12
特殊モード 39
ドットバイドット（表示イメージ） 26

ナ行

入力1～3モード 19
入力信号確認 40
入力信号タイプ 38

ハ行

排気孔 ..... 12、60
パスワード 45
標準（表示イメージ） ..... 26、27
フォーカスリング 22
付属品 9
別売品 9
ボーダー（表示イメージ） 26

マ行

無信号時画面 42
無信号時自動電源オフ 43
メニュー位置 44
メニュー色 44
メモリー 38

ラ行

ランプ 65
ランプ交換 66
ランプ交換表示 63
ランプ時間（残率） 41
リモコン 14
リモコン受信部 15
レンズキャップ 10
レンズシフト 24
レンズシフトレバー ..... 24、25

メモ

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	東日本相談室　TEL **043-297-4649**　FAX **043-299-8280** 西日本相談室　TEL **06-6621-4649**　FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜：午前9時～午後6時　　日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　**74**ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
AVシステム事業本部　〒329-2193　栃木県矢板市早川町174番地

この取扱説明書は再生紙を使用しています。（古紙配合率100%）

TINS-A918WJZZ
03P09-JWM

PRINTED WITH SOY INK アメリカ大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。